

デジタルワイレスインターカムシステム

型名 **WD-2000 シリーズ**

設置説明書
(工事説明書)

— お買い上げありがとうございます —

ご使用前に、この「**工事説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。



このシステムは電気通信事業法で規定される技術基準適合認定機器です

このシステムは電波法で規定される技術基準適合認定品です

私たちは環境・資源をたいせつにしています。
この説明書は再生紙(古紙 100%)を使用しています。

■本文中の記号の見かた



操作上の注意が書かれています。



機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。















参考ページや参考項目を示しています。

■本書の記載内容について

- ・ 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- ・ 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書で ™、®、© などのマークは省略してあります。
- ・ 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

もくじ

 安全上のご注意	5
 設置・設定時のご注意	
設置時のご注意	6
システムデータ設定中のご注意	6
 はじめに	7
 システム構成	
システム構成図	7
システム構成表	8
工事手配品一覧	9
 規格	
VCCI 規格	10
設置環境条件	10
配線ケーブル条件	11
 設置工事の推奨手順	12
 主装置 WD-M200 の設置	
フロントパネルの取りはずし・取り付け	14
サイドパネルの取りはずし・取り付け	16
ケーブルホールの確認	17
主装置本体の設置	18
拡張電源ユニット WD-ZP20J の取り付け	25
バックアップバッテリーWD-NB20 の取り付け	26
バッテリー交換ラベルの記入	27
アース線の接続	28
 ボードの取り付け・取りはずしおよび配線ケーブルの接続	
主装置 WD-M200 へのボードの取り付け・取りはずし	29
配線ケーブルの接続	32
 主装置 WD-M200 の電源投入・切断	
電源の投入のしかた	34
電源の切断のしかた	35
 CPU ボード WD-MU20 の説明	
ボード概略	36
ランプ表示	37
メモリバックアップ用電池の取り付け・取りはずし	38
PCMCIA カードスロットへのカードの挿入・取り出し	39
 電話機接続ボード WD-MU22 の説明	
ボード概要	40
スイッチ設定	40
ランプ表示	41
端末の接続	41
 セルステーション接続ボード WD-MU23/MU24 の説明	
ボード概要	42
スイッチ設定	42
ランプ表示	43
セルステーション WD-T150 の接続	43

電話回線接続ボード WD-ZU25J/ZU26J の説明

ボード概要	4 4
スイッチ設定	4 4
ランプ表示	4 5
外線の接続	4 5

多機能電話機 WD-MT20 の説明

装置概要	4 6
受話器の接続	4 7
配線ケーブルの接続	4 7
壁掛け設置	4 8

放送入出力ユニット WD-AF20 の説明

装置概要	5 0
スイッチ設定	5 1
ランプ表示	5 2
外部機器の接続	5 2
配線ケーブルの接続	5 3
壁掛け設置	5 4

セルステーション WD-T150 の説明

装置概要	5 5
スイッチ設定	5 6
ランプ表示	5 7
配線ケーブルの接続	5 8
壁、天井への取り付け	5 9
設置上の注意事項	6 1

■安全上のご注意

- 電源（AC100V）の接続には十分注意をしてください。誤った配線・接続は火災や感電の原因となります。
 - ・電源はAC100Vを使用する。
 - ・指定以外の端子に電源（AC100V）を接続しない。
 - ・電源プラグを濡れた手でさわらない。
 - ・電源コードを束ねて使用しない。
- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態の時は、すぐに電源分電盤のブレーカーをオフするとともに、蓄電池のコネクターをはずしてください。
- 落雷により不具合が発生した場合は、すみやかにビクターサービス窓口にご連絡ください。
- 電源コードや機器の配線ケーブルは、取り扱いに気をつけてください。火災や故障の原因となります。
 - ・上にものを乗せない。
 - ・傷をつけない。
 - ・無理に曲げない。
 - ・引っ張らない。
- 付属品、または、専用品以外を接続しないでください。故障、誤動作の原因となります。
- 水のかかる場所（屋外、浴室など）または、湿気の多い場所には設置しないでください。感電や故障の原因となります。
- ほこりや振動の多い所には設置しないでください。故障や破損の原因となります。
- 火気を近づけないでください。機器表面などが変形や劣化するほかに、故障の原因となります。
- 直射日光、暖房設備、ボイラーなどの特に温度の上がる場所に設置しないでください。機器表面などが変形や劣化するほかに、故障の原因となります。
- 硫化水素の発生する場所に設置しないでください。故障や機器の寿命が短くなる原因となります。
- 機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと機器内部の温度が上昇し、やけどや故障の原因となります。
- 機器の中に異物を入れないでください。火災や故障の原因となります。
- 機器を壁面に取り付ける際には、機器の重量に十分耐えられる強度を持った場所に取り付けてください。強度が足りない場合は、落下し、けがをすることがあります。
- 取り付けネジやナットで締め付ける箇所がある機器は、締め付けが不確実だと落下する恐れがありますので確実に締め付けてください。
- 機器を壁面、天井などに取り付ける際には、機器をしっかりと手で押さえ落とさないように注意してください。けがや機器の故障の原因となります。
- ボードの取り扱い時は、半田面側の部品端子などに素手で触れないように注意してください。けがの原因となります。
- ボードの取り付け、配線工事は、ボードのメークビジスイッチをBLK側にして抜き差しを行なう以外は、必ず主装置WD-M200の電源スイッチを切って、かつ、ACコンセントを抜いた状態で行なってください。感電や故障の原因となります。
- 主装置WD-M200内の工事の際は、金属切断部に注意してください。けがの原因となります。
- 機器間の接続線に足などを引っかけないようご注意ください。つまりてけがの原因となることがあります。
- すべての工事・配線が完了したら、電源を入れる前にもう一度、すべての結線・配線・コネクターが確実に接続できているか、また、極性、配線間違いがないか確認してください。予期せぬ事故を未然に防げます。

■バックアップバッテリーWD-NB20について

バックアップバッテリーWD-NB20は、鉛蓄電池です。取り扱いには下記の内容にご注意ください。

- 電池接続端子やコネクターを金属でショートさせないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電池のコネクターは、正しく差し込んでください。＋、－を逆に差し込むと電池のふくらみや破裂の危険性があります。
- 電池の充電は主装置に接続された状態で行なわれるので、他の機器では充電しないでください。ショートによる電池の発熱や、液漏れによる火災やけが、周辺汚損の原因となります。
- 電池の交換は、主装置の電源スイッチを切って行なってください。感電の原因となります。
- 交換した電池は、火中に投じないでください。電池が破裂する場合があります。

■ 設置・設定時のご注意

設置時のご注意

- 主装置WD-M200の設置工事をする前に、必ず地気線（通信用A種(旧第1種)アース（10Ω以下））を確保してください。
- 設置工事は、必ず電源を切った状態で行なってください。
- 電源の投入および切断について
 - ・電源の投入：主装置WD-M200の電源コードを電源コンセントに差し込んでから、主装置WD-M200の電源スイッチで電源を入れてください。
 - ・電源の切断：主装置WD-M200の電源スイッチで電源を切ってから、主装置WD-M200の電源コードを電源コンセントから抜いてください。
- ボードの抜き差しについて

CPUボードWD-MU20は、主装置WD-M200の電源を切ってから行なってください。

その他のボードは、主装置WD-M200の電源投入中でも行なえますが、つぎの手順で行なってください。

 - ・ボードを抜く時：通話中ではないことを確認し、ブロックスイッチをRUN側からBLK側にして、LIVEランプが消灯してからボードを抜いてください。
 - ・ボードを挿入する時：ブロックスイッチをBLK側にしてボードを挿入し、ブロックスイッチをBLK側からRUN側にして、LIVEランプが点灯することを確認してください。

システムデータ設定中のご注意

CPU ボード WD-MU20 のフラッシュメモリにシステムデータを保存動作中に、電源が切断またはシステムがリセットされると、CPU ボード WD-MU20 が故障する場合があります。CPU ボード WD-MU20 の RUN ランプ(半田面に実装されている緑色の LED)が、下表の点滅パターン A のように早い点滅状態のときは、CPU ボード WD-MU20 のフラッシュメモリにデータを書き込み中ですので、電源切断やシステムリセットを行わないでください。システムの構成、稼動状態にも異なりますが、システムデータ保存動作は数分間かかる場合があります。電源切断やシステムリセットを行う前に、必ず CPU ボード WD-MU20 の RUN ランプ表示を確認してください。

CPU ボード WD-MU20 の RUN ランプの状態表示

点滅パターン	状態	点滅状態
A	フラッシュメモリ書き込み中 (電源切断/システムリセット禁止)	100msON/100msOFF の 3 回点滅の繰り返し
B	通常状態 (電源切断/システムリセット可)	1 秒に 1 回(500msON/500msOFF)点滅の繰り返し

- CPU ボード WD-MU20 のフラッシュメモリに書き込みを行う主な場合
- ・システムの初期立ち上げ時
 - ・システムソフトをバージョンアップしたとき
 - ・電源が切れた状態で、新しいボードまたは端末を主装置に接続して電源を投入したとき
 - ・システム稼動中に、新しいボードまたは端末を主装置に接続したとき
 - ・システムデータ設定を行うプログラムモードから内線電話モードに戻るとき
 - ・ユーザーが短縮ダイヤルなどのシステムデータを登録・変更したとき

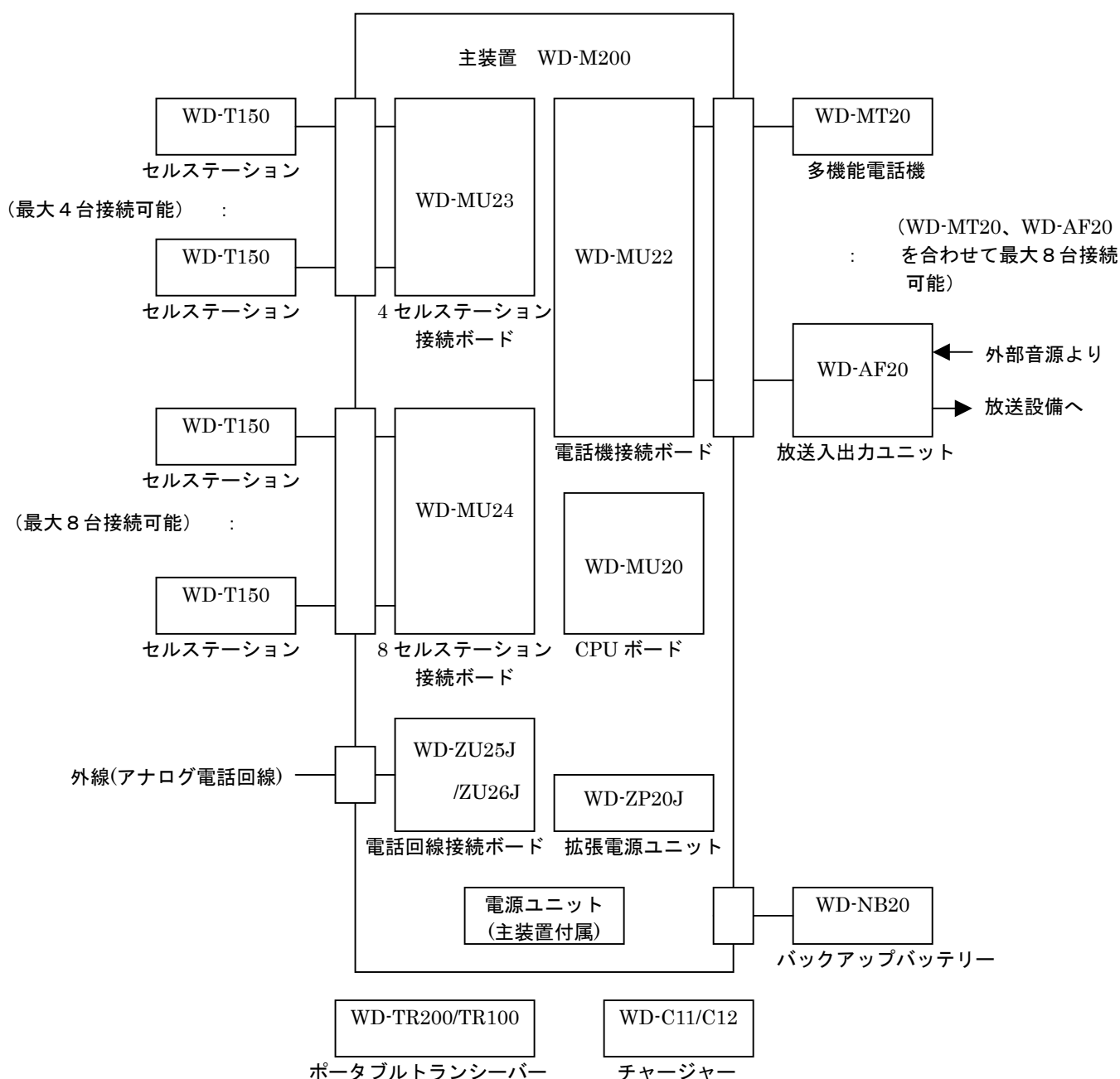
はじめに

この設置説明書は、本システムの設置工事に関する必要事項および注意事項が記載されています。工事の前にこの設置説明書をよくお読みの上、設置説明書に従った工事をお願いいたします。

なお、本システムのシステムデータの設定については、設置説明書（データ設定説明書）をご覧ください。

システム構成

システム構成図



* 主装置 WD-M200 には、CPU ボード WD-MU20 の他に最大 8 枚までのボードが収容できます。

* 主装置 WD-M200 に 5 枚以上のボード（CPU ボード WD-MU20 を除く）を収容する場合は、拡張電源ユニット WD-ZP20J が必要です。

* インカムの通話グループには、ポータブルトランシーバー WD-TR200/TR100、多機能電話機 WD-MT20、放送入出力ユニット WD-AF20 のポートを合わせて最大 61 台まで参加できます。

システム構成表

No	型名	商品名
1	WD-M200	主装置
2	WD-MU20	CPU ボード
3	WD-MU22	電話機接続ボード
4	WD-MU23	4 セルステーション接続ボード
5	WD-MU24	8 セルステーション接続ボード
6	WD-MT20	多機能電話機
7	WD-AF20	放送入出力ユニット
8	WD-NB20	バックアップバッテリー
9	WD-T150	セルステーション
10	WD-TR200	ポータブルトランシーバー
11	WD-TR100	ポータブルトランシーバー
12	WD-C11	チャージャー
13	WD-C12	チャージャー
14	WD-ZP20J	拡張電源ユニット (幹旋品)
15	WD-ZU25J	電話回線接続ボード (4 回線) (幹旋品)
16	WD-ZU26J	電話回線接続ボード (8 回線) (幹旋品)
17	WD-ZM20	ラックマウント金具 (幹旋品)
18	WD-ZT20	壁掛用品 (幹旋品)

工事手配品一覧

工事内容	工事手配品	参照ページ
ケーブル配線	配線用ケーブル	11 ページ
多機能電話機 WD-MT20 配線ケーブルの接続	モジュラーローゼット（6 極 4 芯） ・推奨品：WNT3543KP(松下電工製)	47 ページ
放送入出力ユニット WD-AF20 配線ケーブルの接続		53 ページ
セルステーション WD-T150 配線ケーブルの接続		58 ページ
ボードへの配線ケーブルの接続	ケーブルタイ	33 ページ
主装置 WD-M200 床置き設置	アンカーボルト(φ6mm、4 本)	18 ページ
主装置 WD-M200 壁掛け設置	木ネジ(φ6mm、4 本)	20 ページ
放送入出力ユニット WD-AF20 壁掛け設置	木ネジ(φ4mm、2 本)	54 ページ
セルステーション WD-T150 天井取り付け	木ネジ 1 本(径は任意)	60 ページ
システムデータのセーブ	・コンパクトフラッシュカード ・コンパクトフラッシュカード用 PC アダプター (PC-ATA カードタイプ)	39 ページ

* コンパクトフラッシュカードは、16MB 以上 64MB 以下のものをご使用ください。次のものが動作確認済みです。

- ・バッファロー製 RCF-X64MY
- ・サンディスク製 SanDisk 64MB

* コンパクトフラッシュカード用 PC アダプターは、次のものが動作確認済みです。

- ・バッファロー製 RCF-A2
- ・ハギワラシスコム製 HPC-ADP01

規格

VCCI 規格

本システムは、第1種情報装置（商工業地域において使用されるべき情報装置）で、商工業地域での電波妨害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。したがって、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビ受信機などに受信障害を与えることがあります。

設置環境条件

各機器の設置条件は、つぎのとおりです。

機器名称	使用温度範囲	各機器共通条件
主装置 WD-M200	0℃～40℃	<ul style="list-style-type: none"> 湿度：20%～80%RH（結露なし） 急激な温度、湿度の変化がないこと 換気の良い場所 高周波ミシン、電気溶接機から離れた場所 コンピュータ、OA 機器から離れた場所 ラジオ、テレビ、無線機器から離れた場所 医療用機器から離れた場所 動力線から離れた場所 ノイズ源となるような機器から離れた場所 直射日光の当たらない場所 通行の妨げにならない場所 雨水のかからない場所 金属粉、塵埃の少ない場所 振動、騒音の少ない場所 油、化学薬品などの化学変化の影響を受けにくい場所
各種ボード WD-MU20、WD-MU22、 WD-MU23、WD-MU24、 WD-ZU25J、WD-ZU26J	0℃～40℃	
多機能電話機 WD-MT20	0℃～40℃	
放送入出力ユニット WD-AF20	0℃～40℃	
セルステーション WD-T150	0℃～40℃	
ポータブルトランシーバー WD-TR200、WD-TR100	0℃～40℃	
チャージャー WD-C11、WD-C12	5℃～35℃	



セルステーションWD-T150を水のかかる場所や、湿度80%以上または結露のおそれがある場所に設置する場合は、下記のプラボックスまたは相当品に収納して設置してください。

●日東工業株式会社 プラボックスP-4

配線ケーブル条件

主装置 WD-M200 に収容するボードと各機器間の配線ケーブルは、2 芯のツイストペア・対より線を使用してください。
下記のケーブル、または、同等品を使用してください。

- ・富士電線製 電子ボタン電話デジタル伝送用ケーブル ICT

主装置 WD-M200 と各機器間の配線ケーブルの仕様と配線距離は、次のとおりです。

機器名称	配線ケーブル仕様	配線距離	
		線径	最大配線距離
多機能電話機 WD-MT20	2W-D [2 芯 (1 対)]	φ 0.4mm	400m
		φ 0.5mm	600m
		φ 0.65mm	800m
放送入出力ユニット WD-AF20		φ 0.4mm	600m
		φ 0.5mm	800m
		φ 0.65mm	800m
セルステーション WD-T150		φ 0.4mm	400m
		φ 0.5mm	600m
		φ 0.65mm	800m

■アンダーカーペットケーブルについて

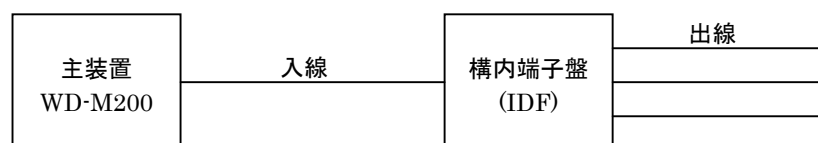
アンダーカーペットケーブルは、燃り線ではない平行ケーブルのため、漏話減衰量が悪化します。したがって、配線ケーブルはできるだけ上記指定のケーブルを使用してください。やむをえずアンダーカーペットケーブルを使用する場合は、つぎの点に十分注意してください。

- ケーブルメーカーの説明書に記載されている敷設工法上の注意事項に従った工事をしてください。
- アンダーカーペットケーブルの長さは、300m 以下で使用してください。
- 周辺機器への配線ケーブルと外線(アナログ電話回線)ケーブルは、交互にケーブル収容しないでください。
- アンダーカーペットケーブルは、使用環境上、ケーブル自体に静電気が帯電しやすいので、放電を起こしにくくするため、特に次の点に配慮してください。
 - ・ケーブルを床面に密着させ、ケーブル全体を保護テープ（ビニールテープなど）で覆い固定すること。
 - ・ケーブルの分岐点や立ち上げ点では、ケーブル芯線の遮蔽外被（アルミラミネートテープ材などの場合が多い）が露出しないように、保護テープで覆うこと。

■構内端子盤で中断分岐する場合

配線ケーブルを構内端子盤(IDF)などで中断分岐する場合は、入線、出線とも同じ線径としてください。

例. 入線 φ 0.5mm の場合は、出線も φ 0.5mm とする



■架空配線する場合

主装置 WD-M200 に収容するボードと各機器間を架空配線する場合は、配線ケーブルに避雷器を挿入してください。
避雷器は、主装置 WD-M200 側、各機器側それぞれに挿入してください。

■ 設置工事の推奨手順

設置工事の標準的な手順を示します。
次の 1 ～ 15 のステップを参考に進めてください。

設置工事開始

ステップ1	システム構成および構成品の確認	7 ページ
ステップ2	機器の設置場所の確認	10 ページ
ステップ3	電源ケーブル、配線ケーブルのルート確認	11 ページ
ステップ4	主装置 WD-M200 の設置	
ステップ4-1	フロントパネルの取りはずし	14 ページ
ステップ4-2	サイドパネルの取りはずし	16 ページ
ステップ4-3	ケーブルホールの確認	17 ページ
ステップ4-4	主装置本体の設置	18 ページ
ステップ4-5	拡張電源ユニット WD-ZP20J の取り付け	25 ページ
* 主装置 WD-M200 に 5 枚以上のボード（CPU ボード WD-MU20 を除く）を収容する場合のみ行います。		
ステップ4-6	バックアップバッテリーWD-NB20 の取り付け	26 ページ
ステップ4-7	アース線の接続	28 ページ
ステップ4-8	サイドパネルの取り付け	16 ページ
ステップ5	各ボードの取り付け	29 ページ

ボード名称	参照ページ
CPU ボード WD-MU20	36 ページ
電話機接続ボード WD-MU22	40 ページ
セルステーション接続ボード WD-MU23/MU24	42 ページ
電話回線接続ボード WD-ZU25J/ZU26J	44 ページ

ステップ6	ケーブルの敷設工事
--------------	-----------

ステップ7	各ボードへのケーブル接続	32ページ
--------------	--------------	-------

ボード名称	参照ページ
電話機接続ボード WD-MU22	41ページ
セルステーション接続ボード WD-MU23/MU24	43ページ
電話回線接続ボード WD-ZU25J/ZU26J	45ページ

ステップ8	周辺機器の設置
--------------	---------

機器名称	参照ページ
多機能電話機 WD-MT20	46ページ
放送入出力ユニット WD-AF20	50ページ
セルステーション WD-T150	55ページ

ステップ9	周辺機器へのケーブル接続
--------------	--------------

機器名称	参照ページ
多機能電話機 WD-MT20	47ページ
放送入出力ユニット WD-AF20	53ページ
セルステーション WD-T150	58ページ

ステップ10	配線ケーブルチェック
---------------	------------

ステップ11	バッテリー交換ラベルへの記入	27ページ
---------------	----------------	-------

ステップ12	電源の投入	34ページ
---------------	-------	-------

ステップ13	システムデータの設定
---------------	------------

* 設置説明書（データ設定説明書）をご覧のうえ、行なってください。

ステップ14	システムの動作確認
---------------	-----------

* 設置説明書（データ設定説明書）をご覧のうえ、行なってください。

ステップ15	主装置 WD-M200 のフロントパネルの取り付け	15ページ
---------------	---------------------------	-------

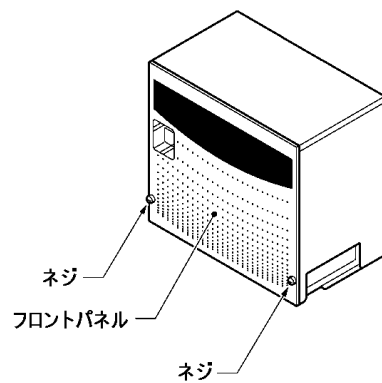
設置工事終了

■主装置 WD-M200 の設置

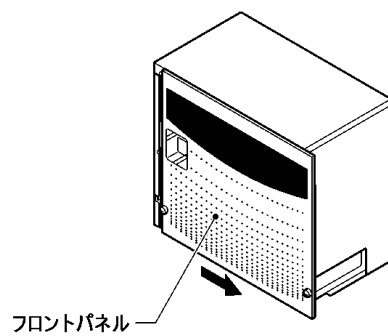
フロントパネルの取りはずし・取り付け

■フロントパネルの取りはずしかた

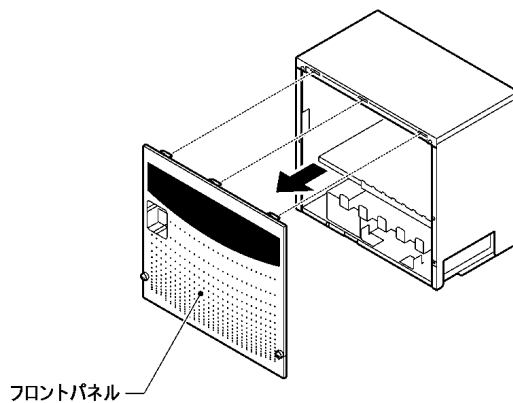
- 1 フロントパネル表面にあるネジ2本をゆるめます。ネジは、フロントパネルからはずれないようになっています。



- 2 フロントパネルを右側にスライドさせます。



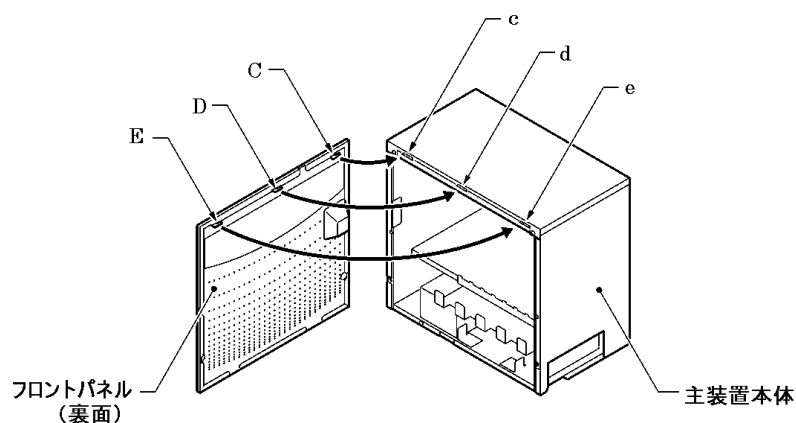
- 3 フロントパネルを手前に取りはずします。



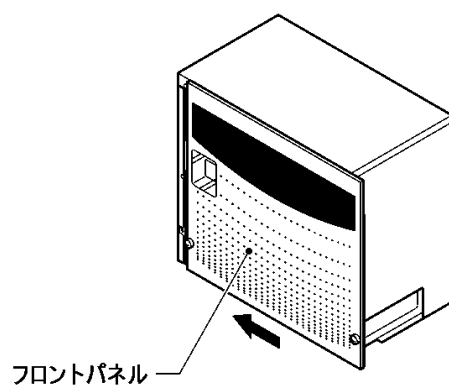
以上で、フロントパネルの取りはずしは完了です。

■ フロントパネルの取り付けかた

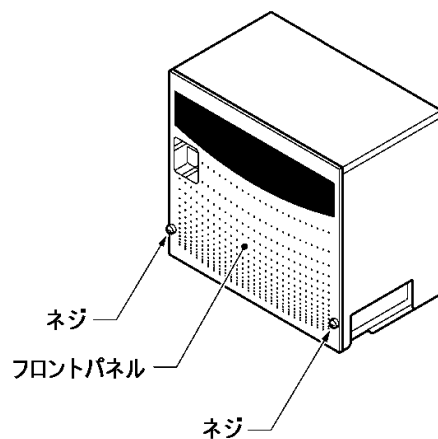
- 1 フロントパネル裏面の取付金具 C、D、E を主装置本体のそれぞれ対応する c、d、e の穴に挿入します。



- 2 フロントパネルを左側にスライドさせてロックします。



- 3 フロントパネル表面にあるネジ2本でフロントパネルを固定します。

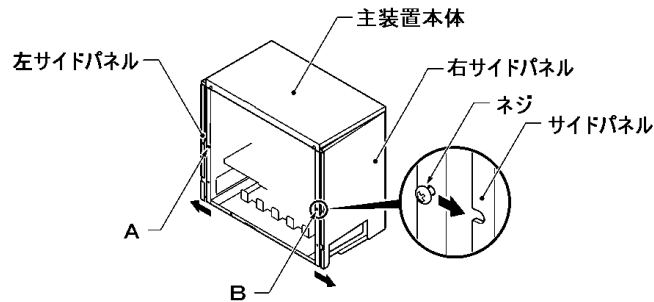


以上で、フロントパネルの取り付けは完了です。

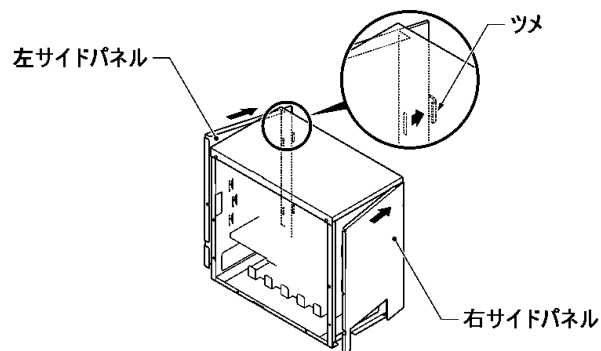
サイドパネルの取りはずし・取り付け

■サイドパネルの取りはずしかた

- 1 図の A、B のネジ 2 本をゆるめ、サイドパネルの手前側を外側に少し開きます。



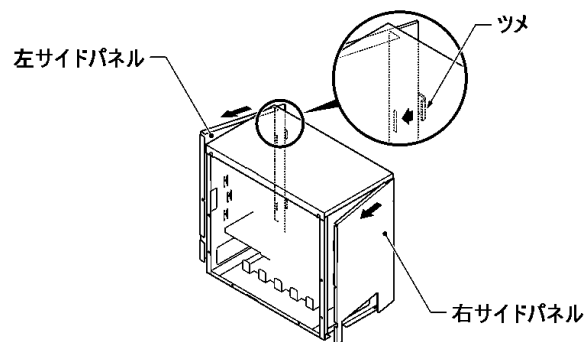
- 2 主装置本体の背面からサイドパネルのツメを後方に抜き出しながら取りはずします。



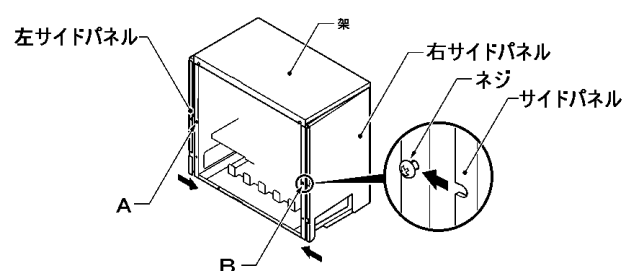
以上で、サイドパネルの取りはずしは完了です。

■サイドパネルの取り付けかた

- 1 サイドパネルのツメを主装置本体のツメ穴に差し込んで取り付けます。



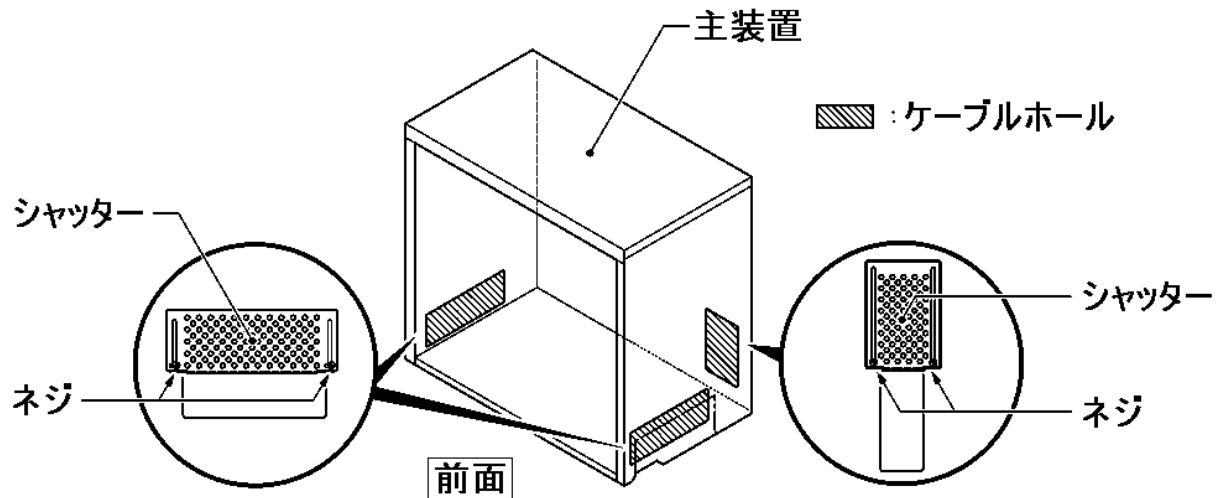
- 2 サイドパネルの手前を主装置本体とネジの間に差し込み、図の A、B のネジ 2 本で固定します。



以上で、サイドパネルの取り付けは完了です。

ケーブルホールの確認

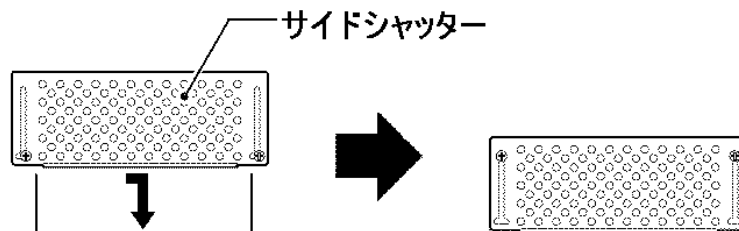
主装置 WD-M200 のケーブルホール（ケーブルの引き込み口）は、右側面、左側面、背面の3箇所あります。



ご注意

工場出荷時は、ケーブルホールのシャッターは開いた状態になっています。使用しないケーブルホールのシャッターは、次の手順で閉じておいてください。シャッターが開いたままになっていると、虫などが侵入し、故障の原因となることがあります。

- ①使用しないケーブルホールのシャッターのネジ2本をゆるめる
- ②シャッターを閉じる
 - ・サイドシャッターは、工事中の落下を防止するため、溝がT字になっています。左右のどちらかに少しずらして、閉じてください。
- ③手順①でゆるめたネジ2本を固定する



主装置本体の設置

主装置本体の設置方法には、床置き設置、壁掛け設置、19 インチラック設置の3通りがあります。

床置き設置、壁掛け設置では、主装置に添付されている壁掛ブラケットをアンカーとして使用します。以降、壁掛ブラケットをアンカーと呼びます。

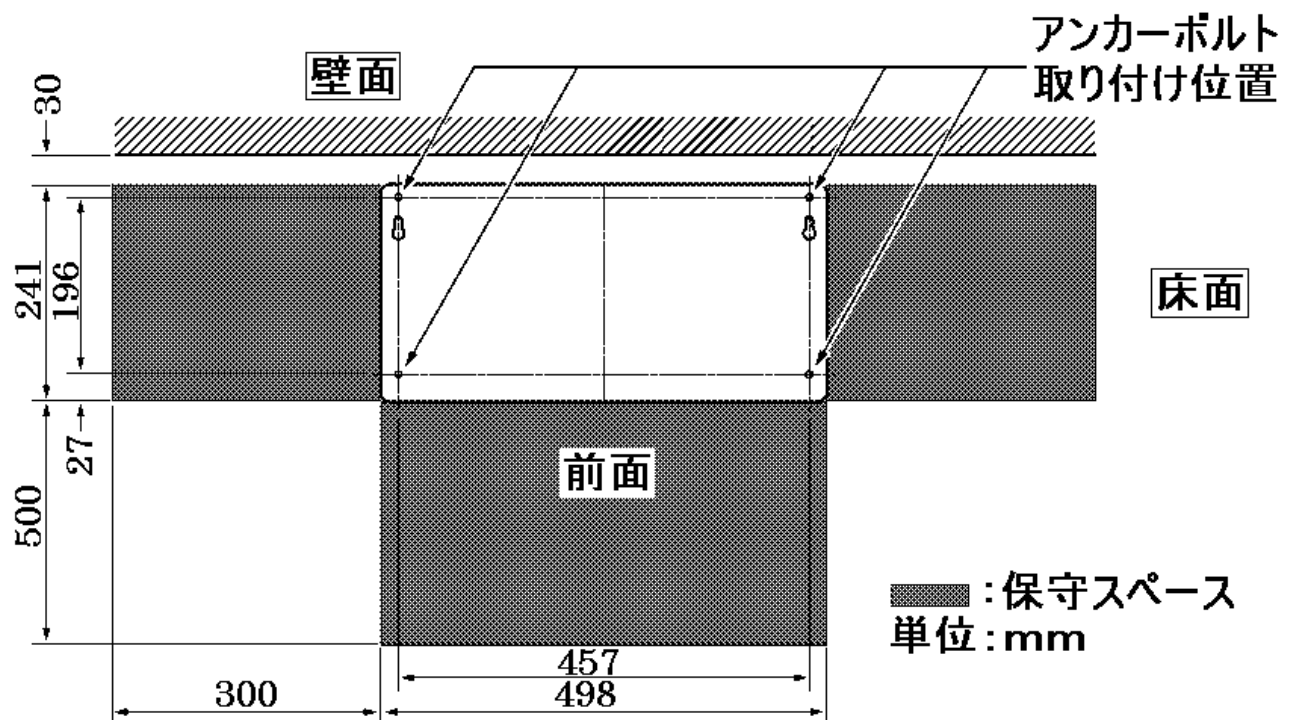
EIA ラック設置では、ラックマウント金具（幹旋品）を使用します。

■床置き設置

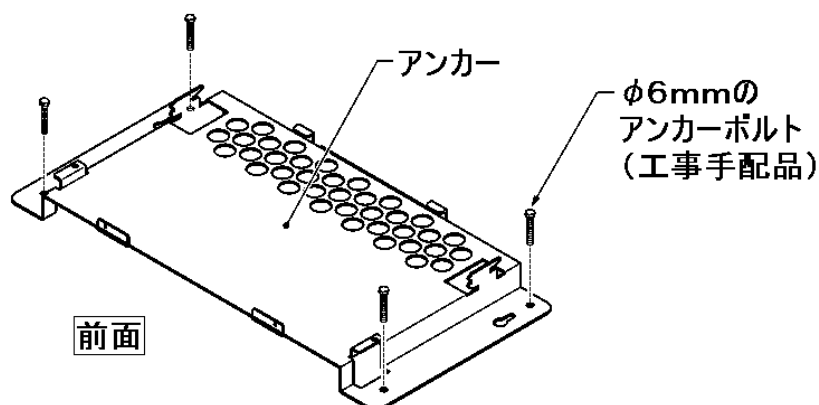


床置き設置でアンカー（壁掛ブラケット）を使用した場合、主装置の高さが 30mm 高くなります。

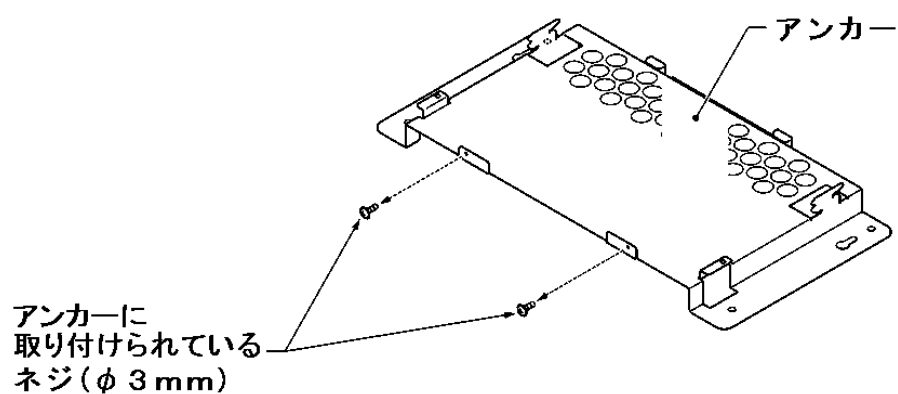
- 1 次の取り付け寸法図に従い、床にアンカーボルト（工事手配品）を打つための穴（ $\phi 6\text{mm}$ ）を4箇所あけます。



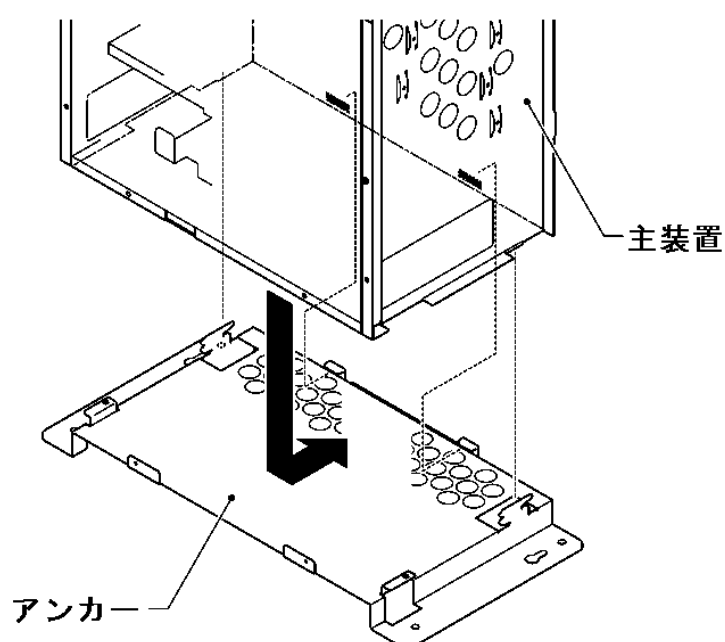
- 2 アンカーボルトを打つための穴に合わせて主装置に添付のアンカーを置き、 $\phi 6\text{mm}$ のアンカーボルト（工事手配品）4本で固定します。



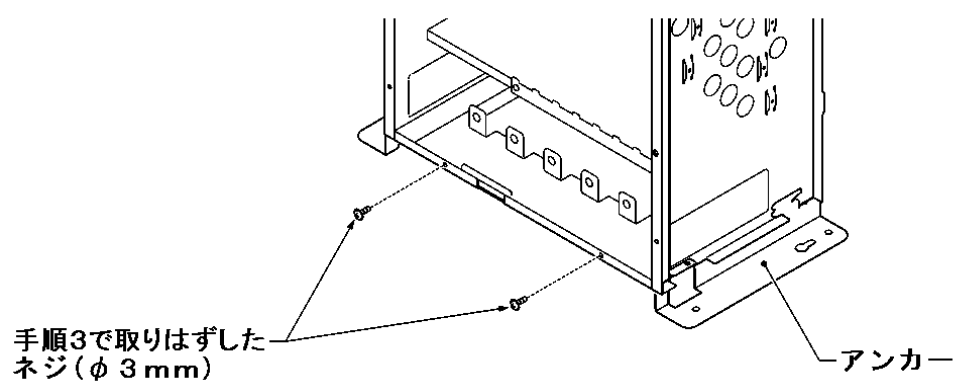
- 3 主装置に添付のアンカーに取り付けられているネジ(φ3mm)2本を取りはずします。



- 4 床に固定したアンカーの上に主装置を置き、奥にスライドさせます。

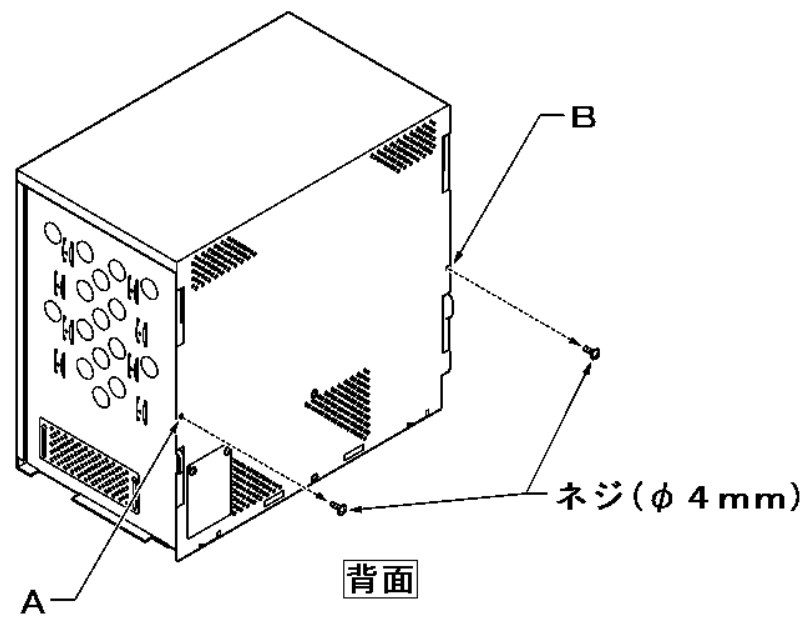


- 5 手順3で取りはずしたネジ(φ3mm)2本で、主装置をアンカーに固定します。



以上で、床置き設置時の主装置本体の設置は完了です。

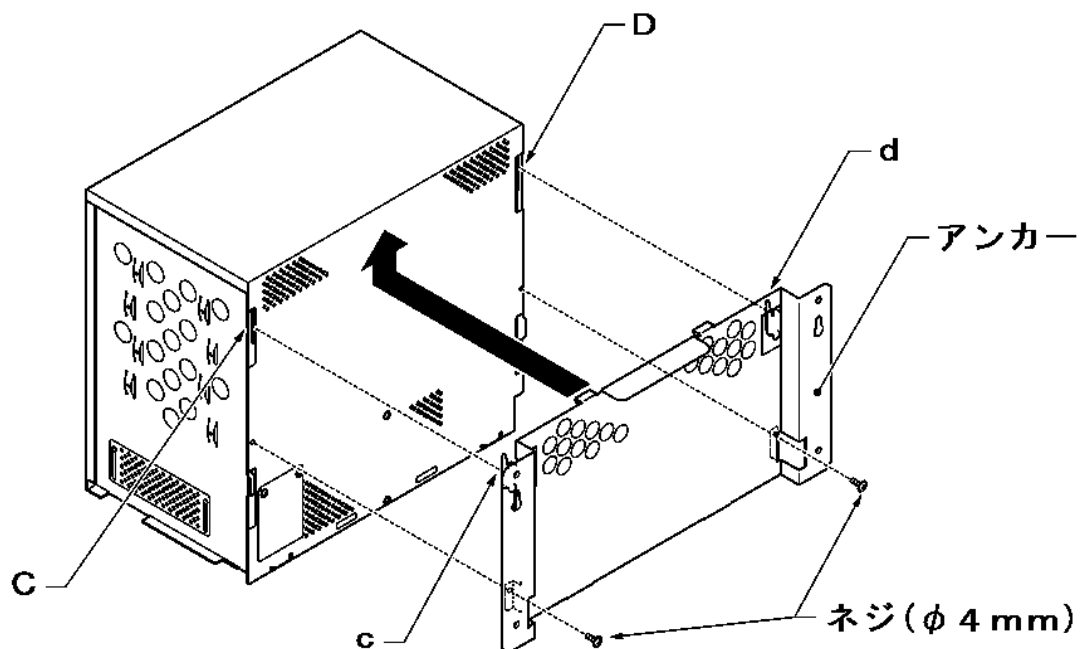
- 3 主装置背面の A、B のネジ($\phi 4\text{mm}$) 2 本を取りはずします。



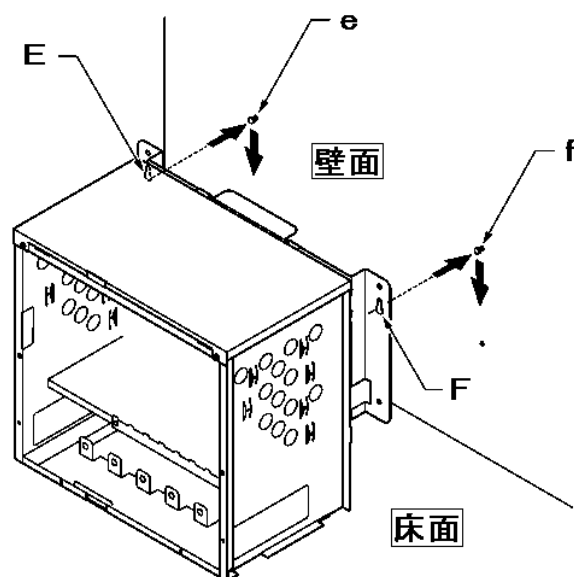
- 4 主装置背面の C、D の穴に、アンカーの c、d のツメを差し込み、少し上に持ち上げ、手順 3 で取りはずしたネジ($\phi 4\text{mm}$) 2 本で、アンカーを主装置背面に固定します。



アンカーを取り付ける際は、アンカーをしっかり押さえながらネジ止めしてください。
落下すると、けがの原因となることがあります。

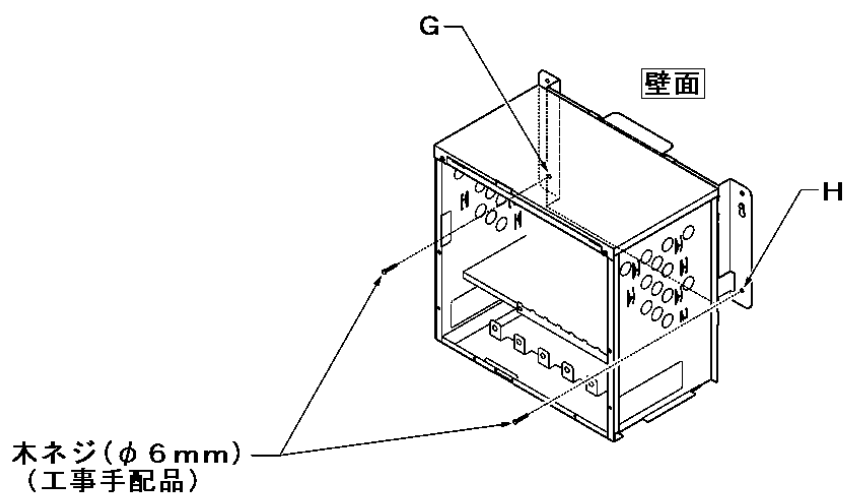


- 5 壁に打ち込んだ e、f の木ネジなどに、主装置に取り付けたアンカーの E、F の穴を、図のように引っ掛けます。



- 6 上図の e、f の木ネジをしっかりと締め付けます。

- 7 アンカーの残りの木ネジの取り付け位置 G、H を、木ネジ(φ6mm) 2 本で固定します。



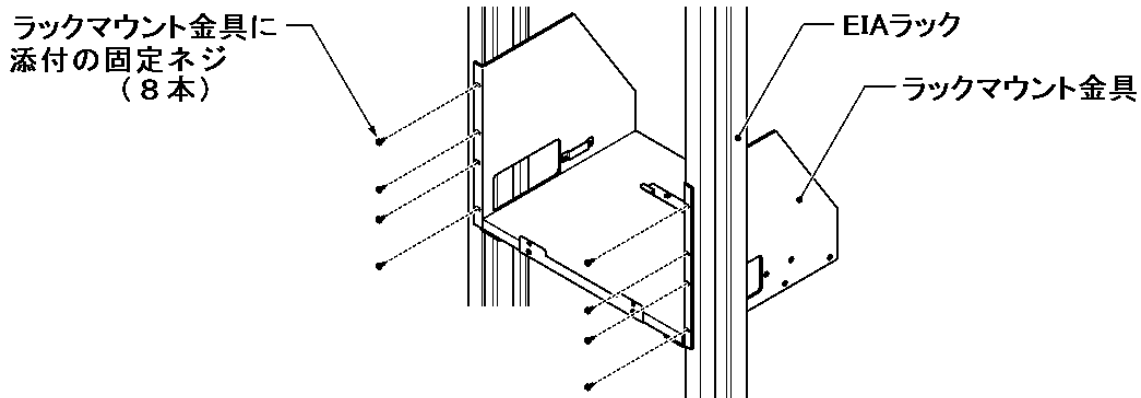
以上で、壁掛け設置時の主装置本体の設置は完了です。

■EIA ラック設置

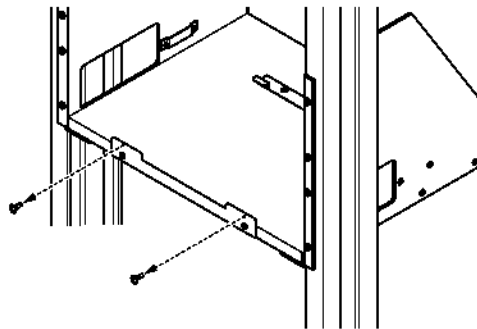


- EIA ラック設置では、ラックマウント金具（幹旋品）を使用します。
- EIA ラック内を占有する高さは、約10U（ユニット）です。

1 ラックマウント金具を、ラックマウント金具に添付の固定ネジ8本で EIA ラックに固定します。



2 ラックマウント金具に取り付けられている、ネジ(φ3mm)2本を取りはずします。

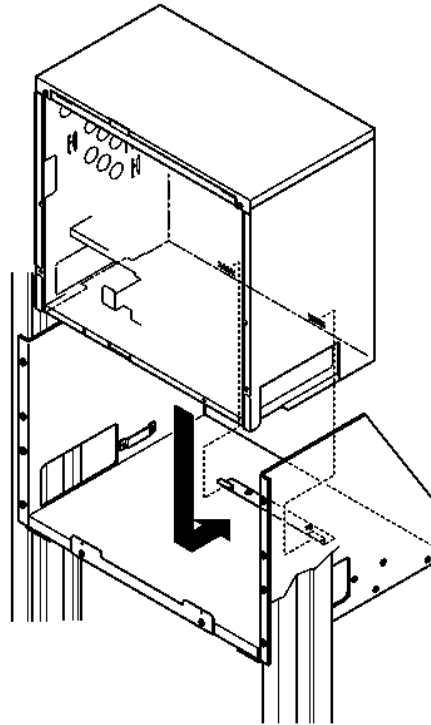


3 主装置本体にサイドパネルを取り付けます。

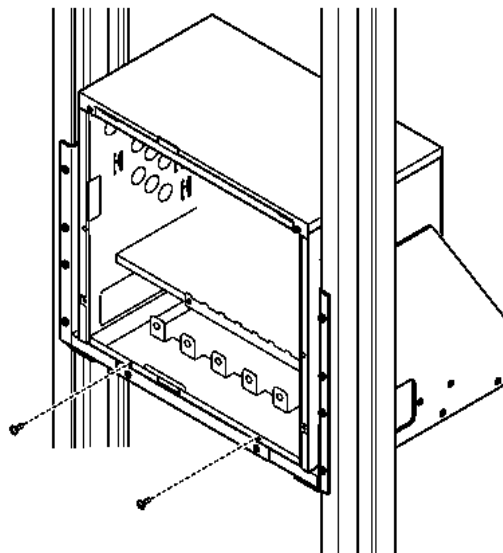


主装置は、必ずサイドパネルを取り付けてから、ラックマウント金具上に設置してください。ラックマウント金具に設置した後では、主装置にサイドパネルの取り付けおよび取りはずしはできません。

- 4 主装置をラックマウント金具の上に置き、奥にスライドさせます。



- 5 手順 2 で取りはずしたネジ(φ3mm)2本で、主装置とラックマウント金具を固定します。

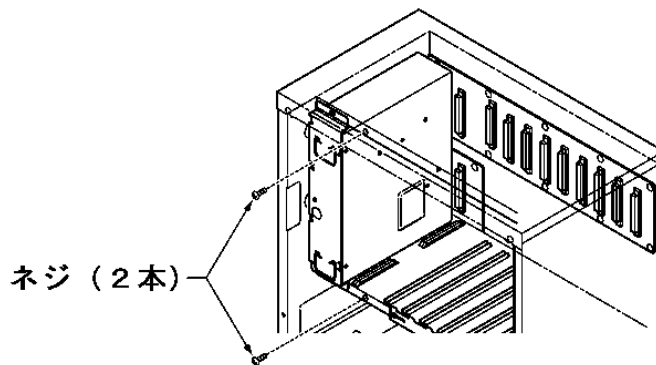


以上で、EIA ラック設置時の主装置本体の設置は完了です。

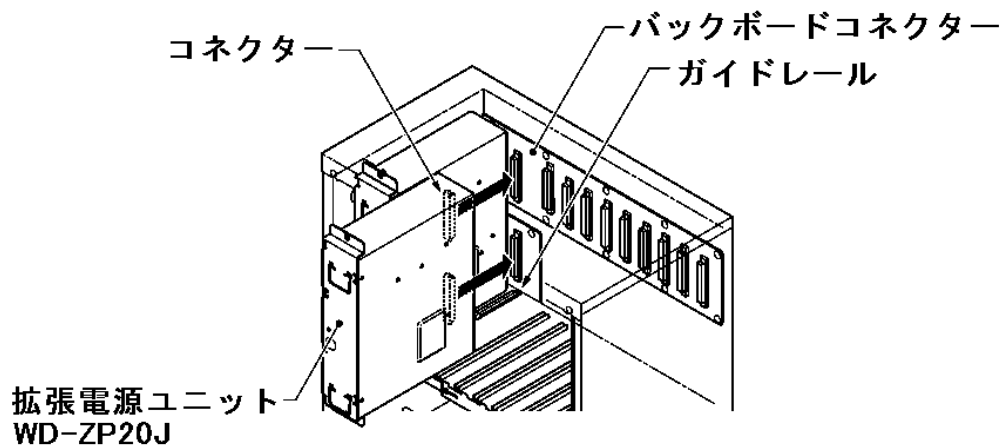
拡張電源ユニット WD-ZP20J の取り付け

主装置 WD-M200 には、電源ユニットがあらかじめ 1 台実装されています。ただし、5 枚以上のボード（CPU ボード WD-MU20 を除く）を収容する場合は、拡張電源ユニット WD-ZP20J（斡旋品）が必要となります。
拡張電源ユニット WD-ZP20J は、つぎの手順で取り付けてください。

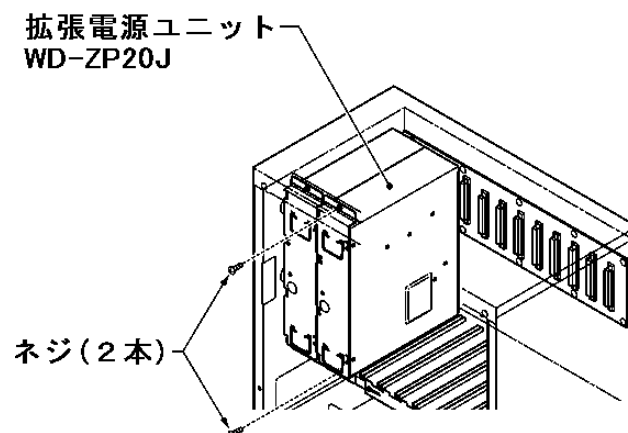
- 1** 拡張電源ユニット取り付け位置のネジ 2 本を取りはずします。



- 2** 主装置付属の電源ユニットが取り付けられている右側のガイドレールに沿って拡張電源ユニット WD-ZP20J を挿入します。
拡張電源ユニット WD-ZP20J のコネクタがバックボードコネクタに、しっかり接続されるまで差し込みます。



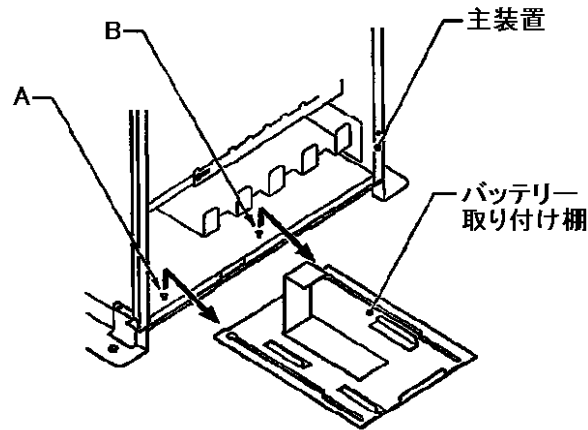
- 3** 手順 1 で取りはずしたネジ 2 本で、拡張電源ユニット WD-ZP20J を固定します。



以上で、拡張電源ユニット WD-ZP20J の取り付けは完了です。

バックアップバッテリーWD-NB20 の取り付け

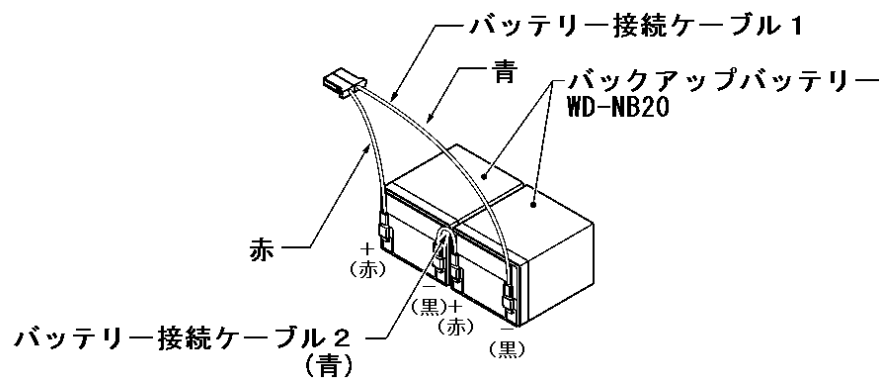
- 1 図の A、B のネジ 2 箇所をゆるめ、主装置からバッテリー取り付け棚を取り出します。



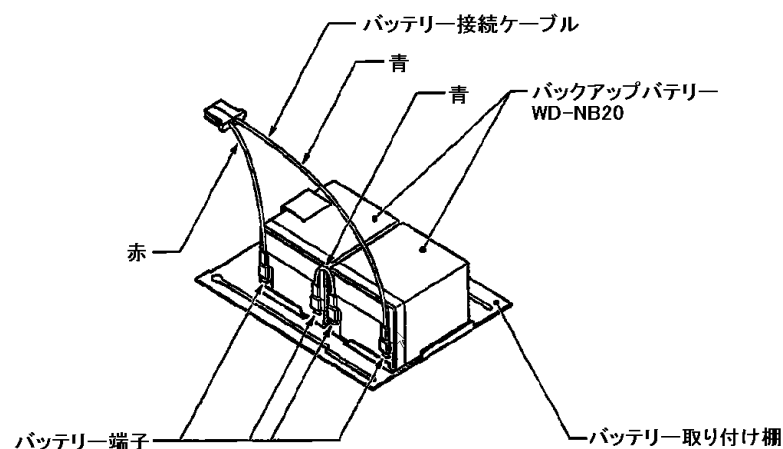
- 2 バックアップバッテリーWD-NB20 に、バッテリー接続ケーブル（主装置添付品）を図のように接続します。



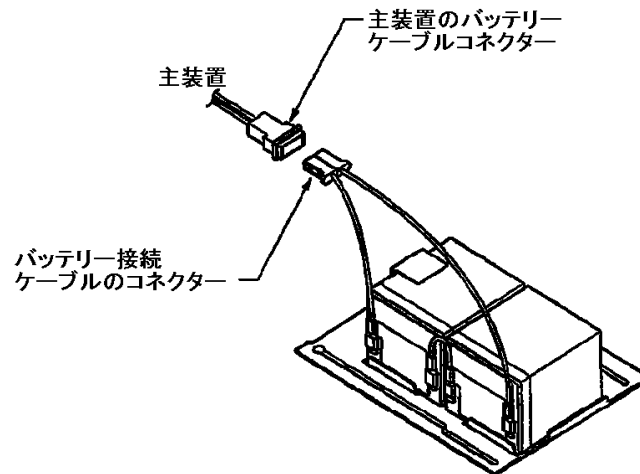
極性（＋）を間違えないように接続してください。火災の原因となることがあります。



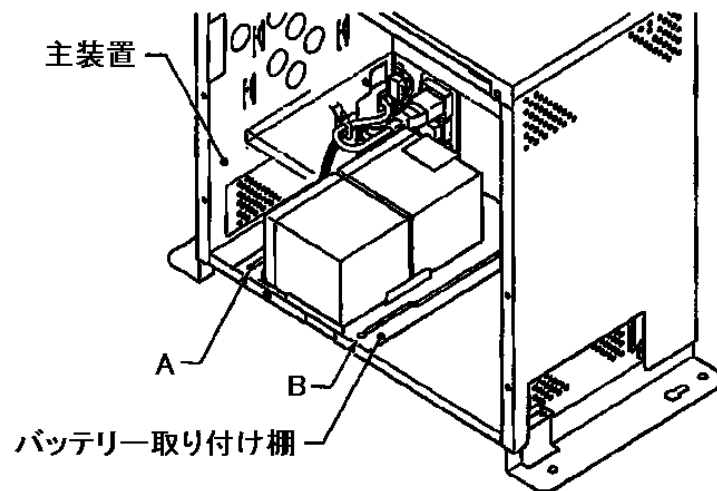
- 3 バッテリー取り付け棚に、バックアップバッテリー（2 個接続）を図のように置きます。バッテリー端子が、必ず下側になるように置いてください。



- 4 主装置のバッテリーケーブルコネクタに、バックアップバッテリーのバッテリー接続ケーブルのコネクタを接続します。



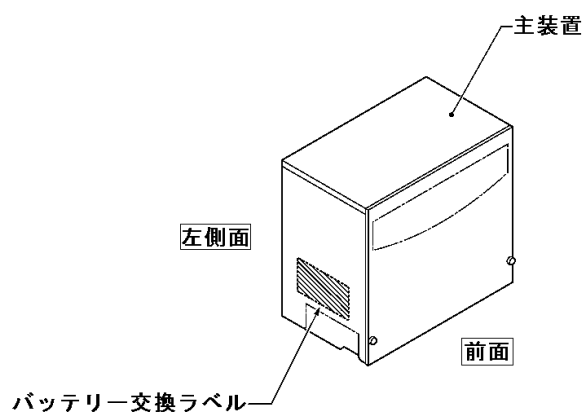
- 5 バッテリー取り付け棚を主装置の奥まで挿入し、図の A、B のネジ2箇所で固定します。
バッテリー取り付け棚後部のツメが、主装置のバックパネルスリットに挿入されて止まるまで押し込んでください。



以上で、バックアップバッテリーWD-NB20 の取り付けは完了です。

バッテリー交換ラベルの記入

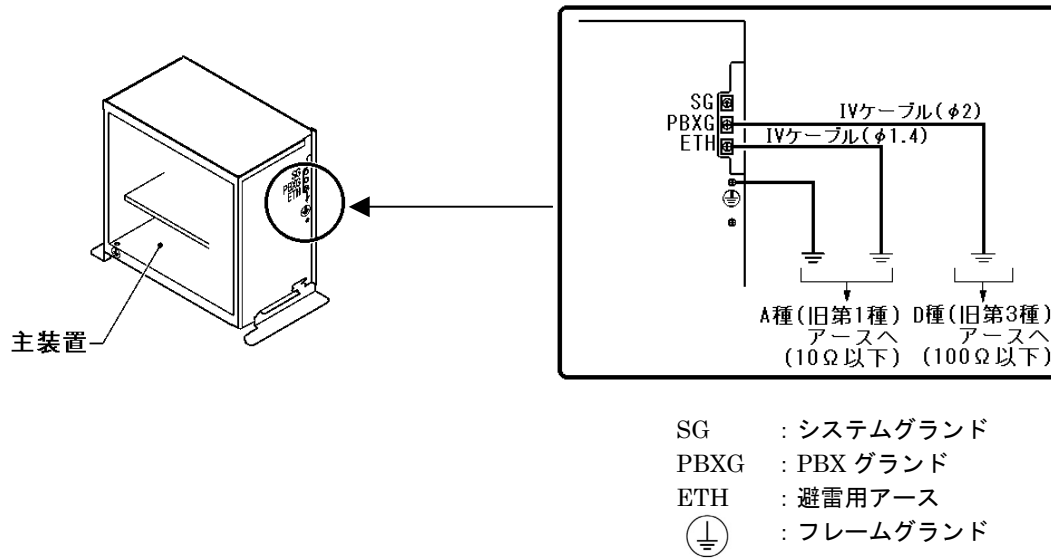
主装置左側面のバッテリー交換ラベルに使用開始日を記入します。



アース線の接続

主装置には下記 4 つの接地端子があります。各端子は下図指定の線材にて指定の接地接続をしてください。

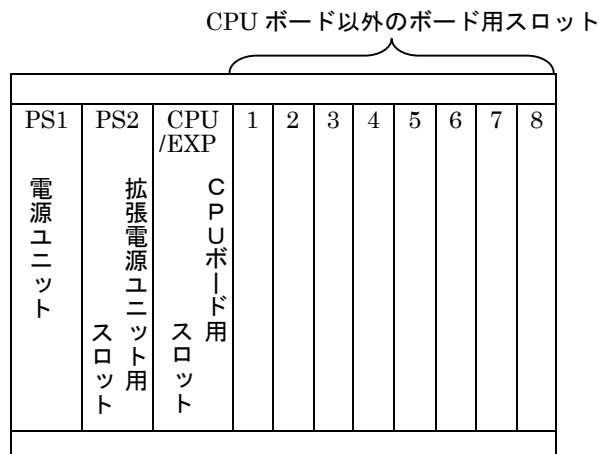
なお、SG 端子は他装置（放送用パワーアンプ等）接続時、機能動作上回路グラウンドを共有にする必要がある場合にのみ他装置と同時接地接続し、それ以外は接地接続しないでください。また PBXG 端子は、NTT ダイアルイン回線収容時のみ接地接続してください。



■ボードの取り付け・取りはずしおよび配線ケーブルの接続

主装置 WD-M200 へのボードの取り付け・取りはずし

CPU ボード WD-MU20 は、主装置の CPU ボード専用スロット（CPU/EXP）に実装してください。コネクタの位置が異なっているので、主装置のスロット 1～8（S1～S8）には実装できません。
それ以外のボードは、主装置のスロット 1～8（S1～S8）に実装してください。



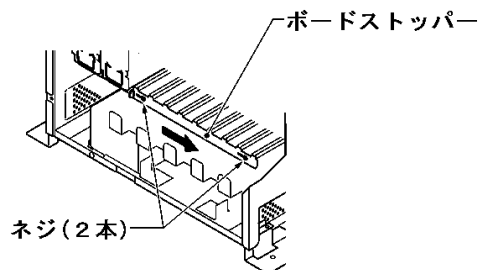
■ボードの取り付けかた

ボードのスイッチ設定などを行ってから、主装置のスロットに取り付けます。

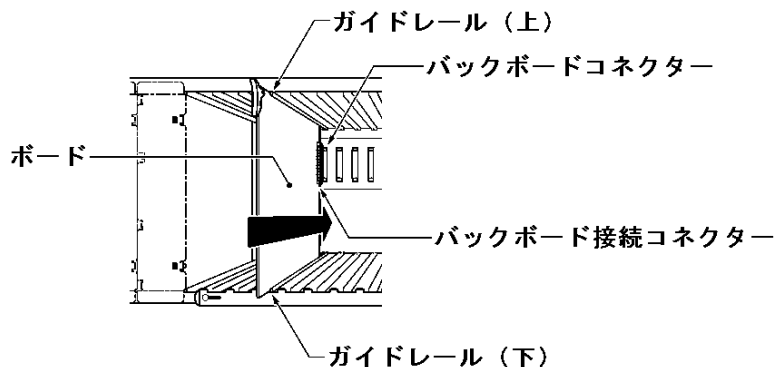


ボードの取り付けは、主装置の電源が OFF の状態で行ってください。
ただし、ブロックスイッチがあるボードは、主装置の電源が ON の状態でも取り付けが可能です。この場合は、ブロックスイッチを BLK 側にしてから、ボードを挿入してください。取り付けが完了したら、ブロックスイッチを RUN 側にしてください。

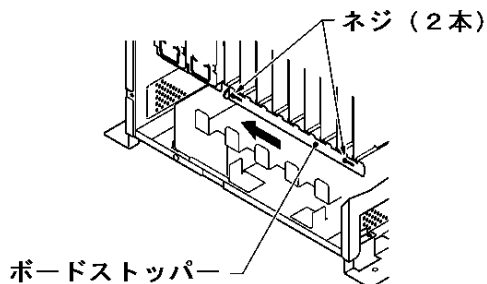
- 1 ボードストッパーのネジ 2 本をゆるめ、右にスライドさせます。



- 2 ボードをガイドレールに沿って挿入し、ボードのバックボード接続コネクタをバックボードコネクタにしっかり差し込みます。



- 3 ボードをすべて取り付けした後、ボードストッパーを左にスライドさせ、手順 1 でゆるめたネジ 2 本をしめてボードストッパーを固定します。



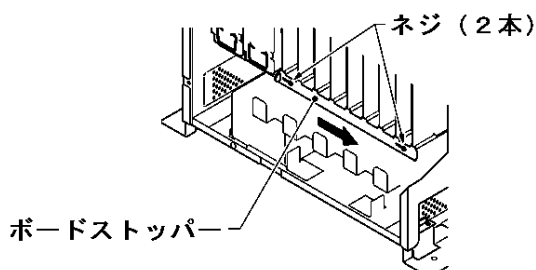
以上で、ボードの取り付けは完了です。

■ボードの取りはずし

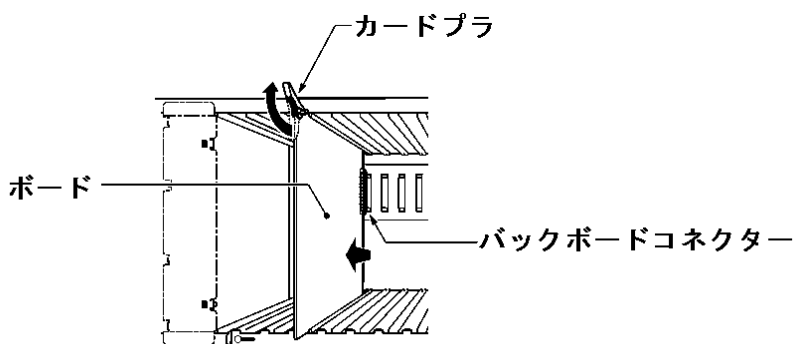


ボードの取りはずしは、主装置の電源が OFF の状態で行ってください。
ただし、ブロックスイッチがあるボードは、主装置の電源が ON の状態でも取りはずしが可能です。この場合は、ブロックスイッチを BLK 側にして、LED ランプでユニットが使用中でないことを確認した後、取りはずしてください。

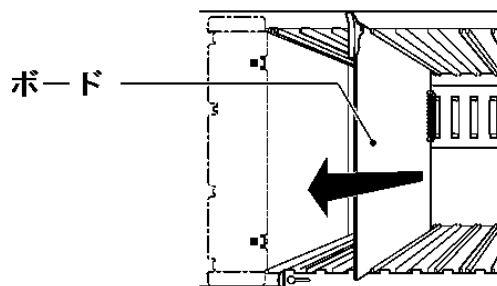
- 1 ボードストッパーのネジ 2 本をゆるめ、右にスライドさせます。



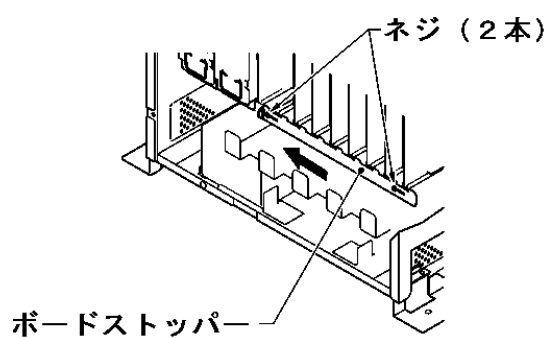
- 2 ボードのカードプラを上を持ち上げます。バックボードコネクターからボードが抜き出されます。
CPU ボード WD-MU20 場合は、ボード上部の引き出し用バンドを持ち、手前に引き抜いてください。



- 3** ボードを前方に引き出して取り出します。



- 4** ボードを取りはずした後、ボードストッパーを左にスライドさせ、手順 1 でゆるめたネジ 2 本を締めて、ボードストッパーを固定します。



以上で、ボードの取りはずしは完了です。

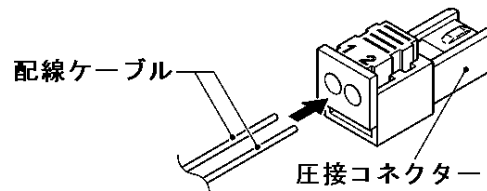
ボードへの配線ケーブルの接続

配線ケーブルに圧接コネクタを取り付けて、ボードへ接続します。圧接コネクタは、各ボード添付のコネクタ、または、下記のコネクタを使用してください。

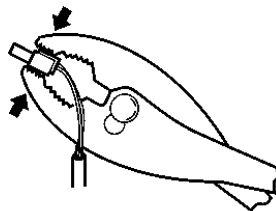
- ・ 第一電子工業製 232D-02S1B-DA5 : 本体 青／カバー 透明
- ・ ヒロセ電機製 PF-2MB : 本体・カバー一体 黒

■ 圧接コネクタの取り付けかた

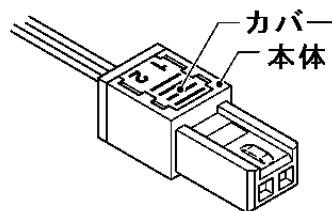
- 1 配線ケーブルの芯線の先端を同じ長さに切断し、圧接コネクタに挿入します。芯線は被覆が付いた状態で挿入します。



- 2 圧接コネクタをペンチやプライヤなどではさみ、ケーブルを圧接します。



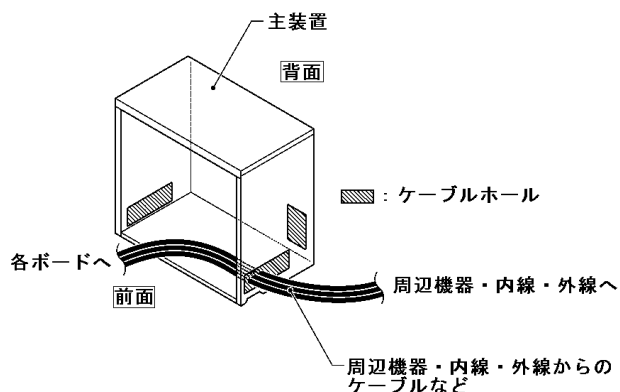
- 3 配線ケーブルが抜けないことを確認します。



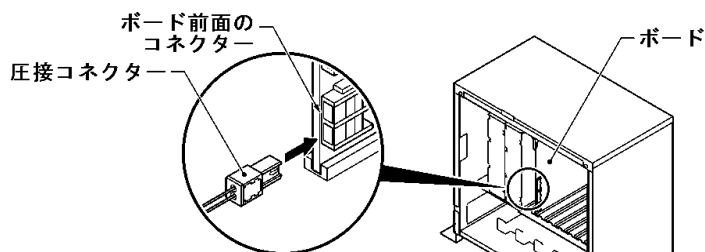
以上で、圧接コネクタの取り付けは完了です。

■ボードへの配線ケーブルの接続のしかた

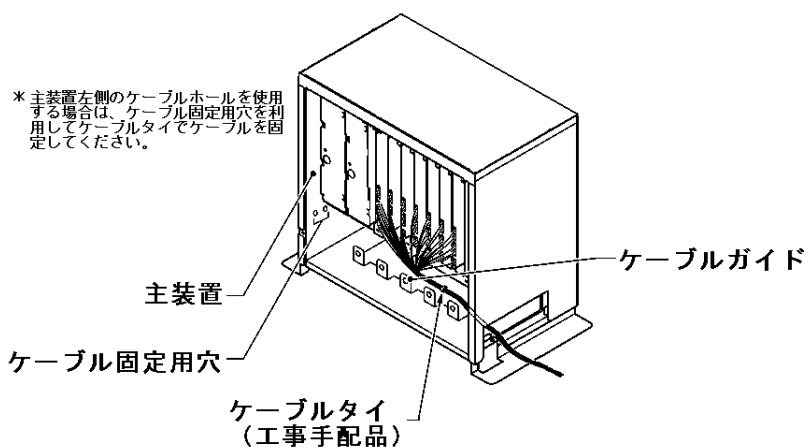
- 1 回線・内線ケーブルや周辺機器からの配線ケーブルを図のように、いずれかのケーブルホールから主装置内に引き込みます。



- 2 配線ケーブルを接続した圧接コネクタを、ボード前面のコネクタにしっかり挿入してください。



- 3 ボードに接続したケーブルは、図のようにケーブルタイ（工事手配品）などでまとめ、主装置に固定してください。
例：主装置右側のケーブルホールを使用する場合

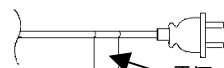


以上で、ボードへの配線ケーブルの接続は完了です。

主装置 WD-M200 の電源投入・切断

ご注意

主装置に添付の電源コードラベルを記載内容がよく見えるように電源コードに貼り付けてください。



電源コードラベル

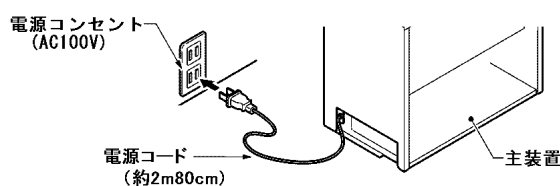
主装置に添付の電源コードラベルを記載内容がよく見えるように電源コードに貼り付けてください。

電源の投入のしかた

ご注意

ブロックスイッチがあるボードを主装置に実装している場合は、そのボードのブロックスイッチが RUN 側にあることを確認して、電源の投入を行なってください。

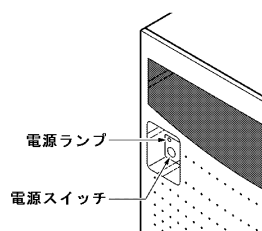
- 1 主装置の電源ケーブルを電源コンセント(AC100V)に差し込みます。



ご注意

電源コンセントに電源コードを差し込むと、電源ユニット内に AC100V が給電されます。感電する危険性がありますので、絶対に電源コンセントに電源コードを差し込んだまま、電源ユニットを主装置から抜かないでください。

- 2 主装置に実装されている電源ユニットの、電源スイッチをロックするまで押します。
主装置本体にフロントパネルが取り付けられている場合は、下図の電源スイッチを押します。



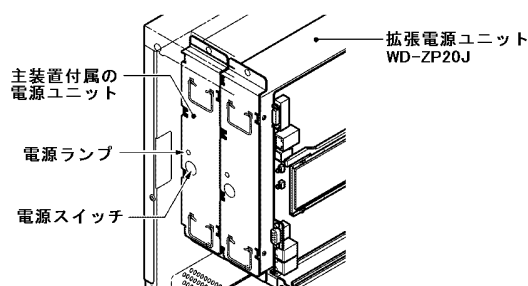
ご注意

電源スイッチをもう 1 回押すと、電源ユニットの電源ランプが点滅し、シャットダウン動作が開始され、電源が OFF となります。

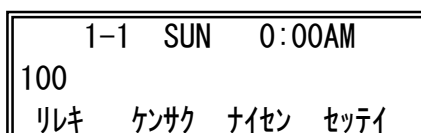
ご注意

拡張電源ユニット WD-ZP20J を実装している場合

拡張電源ユニット WD-ZP20J (向かって右側) の電源スイッチをロックするまで押してから、主装置付属の電源ユニット (向かって左側) の電源スイッチをロックするまで押します。
主装置付属の電源ユニットを OFF にすると、拡張電源ユニット WD-ZP20J も自動で OFF になります。



- 3 電源ランプが点灯し、システムが起動します。
- 4 多機能電話機 WD-MT20 が LCD 表示が下図のような内線電話モードの表示になることを確認します。



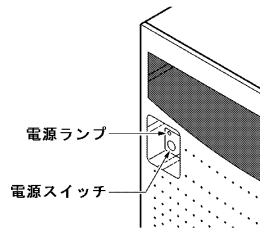
以上で、電源の投入は完了です。

電源の切断のしかた



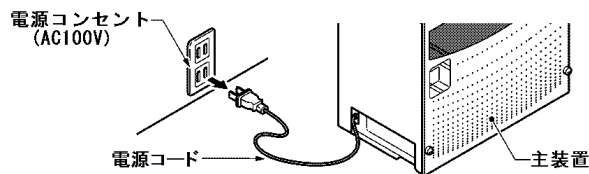
電源ユニットは高温となっていますので触れないでください。やけどの原因となります。

- 1 主装置に実装されている電源ユニットの、電源スイッチを押します。
主装置本体にフロントパネルが取り付けられている場合は、下図の電源スイッチを押します。



拡張電源ユニット WD-ZP20J を実装している場合
主装置付属の電源ユニットを OFF にすると、
拡張電源ユニット WD-ZP20J も自動で OFF になります。

- 2 電源ランプが点滅し、システムのシャットダウンが開始され、電源が OFF になります（電源ランプが消灯します）。
- 3 電源コンセントから主装置の電源ケーブルを抜きます。



以上で、電源の切断は完了です。



バックアップバッテリーWD-NB20 を実装した状態で電源を投入したあと、電源スイッチで電源を切らずに電源コードを抜くと、バックアップバッテリーWD-NB20 でのバックアップ電源動作となりますので、必ず上記の手順で電源を切断してください。

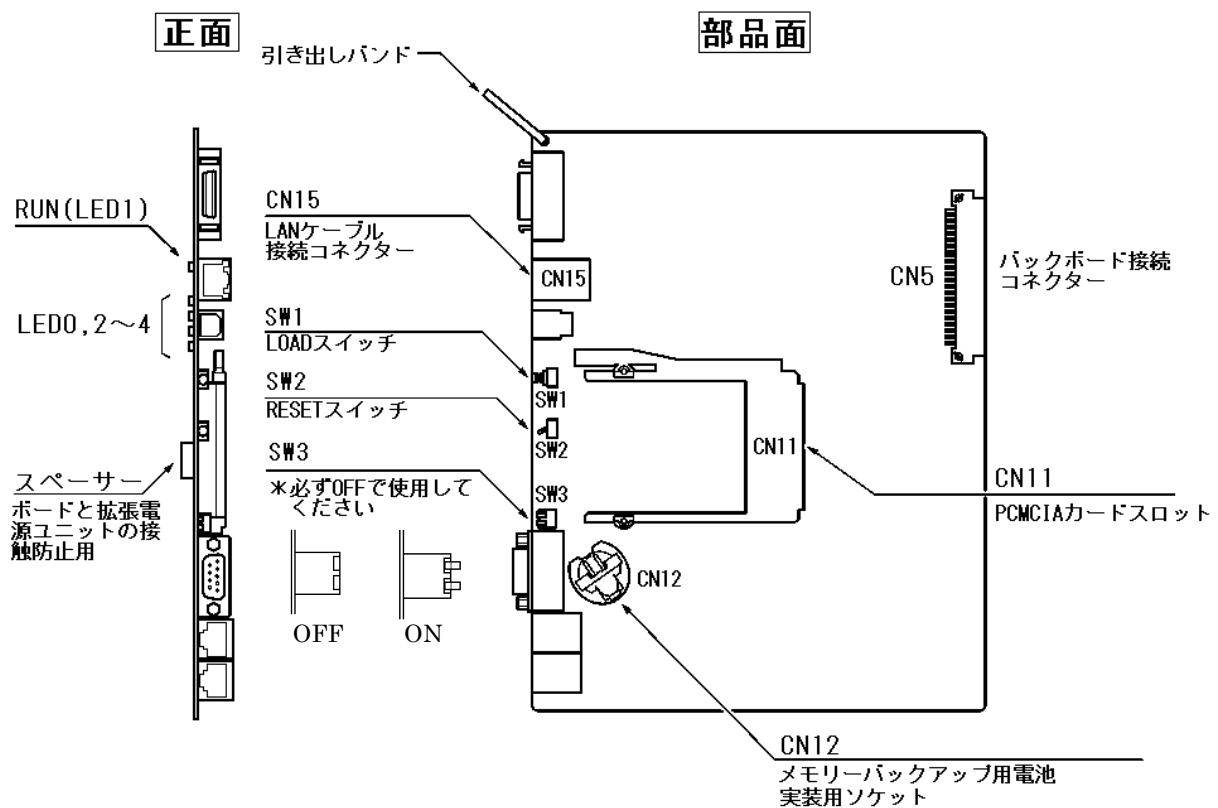
CPU ボード WD-MU20 の説明

ボード概要

■概要

- ・WD-2000 システムの主制御ボードです。マイクロプロセッサにより記憶されたプログラムを実行し、他のボードとデータ伝送を行い、システム全体を制御します。
- ・インカム通話で使用する会議通話トランクを 64ch 搭載しています。
- ・DTMF 信号 (PB トーン) あるいはトーン (ビジートーン) を検出する回路を 32ch 搭載しています。
- ・システムトーン送出機能、保留音送出機能があります。
- ・RTC (リアルタイムクロック) 内蔵を搭載しています。(月差 30 秒程度)
- ・メモリーバックアップ用電池 (CR2032 3.0V コイン形リチウム一次電池) を搭載できます。
- ・PCMCIA カードスロットを 1 スロット搭載しており、コンパクトフラッシュカードにシステムデータのセーブ、ロードをすることができます。詳細は、設置説明書 (データ設定説明書) をご覧ください。

■外観図



ランプ表示

■名称と表示内容

ランプ名称	機能名
RUN(LED1)	ボード動作状態表示
LED0 LED2 LED3	アラーム表示
LED4	PCMCIA カードスロット状態表示（カードが入っていないときは消灯）

■ランプ動作

（１）システム起動時

ランプ状態					表示内容
RUN (LED1)	LED0	LED2	LED3	LED4	
○	×	×	×	△	システムの立ち上げ、または、リセット時
×	×	×	×	△	システム初期化中
×	○	×	▲	△	ディスクの初期化またはフォーマット中
×	×	○	○	△	ブートプログラム更新中（フラッシュメモリ内）
×	○	○	▲	△	システムプログラム読み込み中
○	+	+	+	△	システムプログラム更新完了
○	+	×	×	△	ブートプログラム更新完了（フラッシュメモリ内）
○	+	+	×	△	全ディスクフォーマット完了（SRAM、ディスク）
+	×	×	×	△	DRAM エラー
+	×	×	○	△	FPGA バージョンエラー
+	×	○	×	△	SRAM エラー
+	×	○	○	△	フラッシュメモリーブート（起動）エラー
+	○	○	○	△	フラッシュメモリーデータエラー
+	+	+	+	△	システムプログラム読み込みエラー

○…点灯、×…消灯、+…点滅、▲…アクセス時点滅、△…PCMCIA カードスロットにカード挿入時点灯

（２）システム運用中

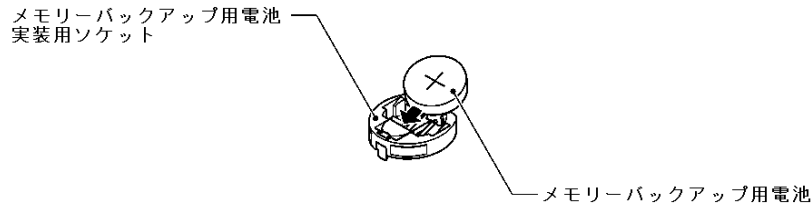
ランプ状態					内容
RUN (LED1)	LED0	LED2	LED3	LED4	
+	×	×	×	△	通常運用中

×…消灯、+…点滅、△…PCMCIA カードスロットにカード挿入時点灯

メモリーバックアップ用電池の取り付け・取りはずし

■メモリーバックアップ用電池の取り付けかた

- 1 メモリーバックアップ用電池実装用ソケット(CN12)に、メモリーバックアップ用電池のプラス（+）を上にして斜めに差し込みます。



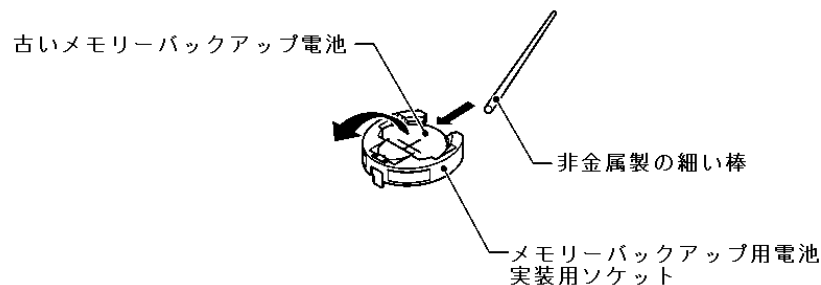
- 2 図のように取り付けます。



以上で、メモリーバックアップ用電池の取り付けは完了です。

■メモリーバックアップ用電池の取りはずしかた

- 1 メモリーバックアップ用電池実装用ソケット(CN12)から、非金属製の細い棒などを使用し、電池を取りはずします。



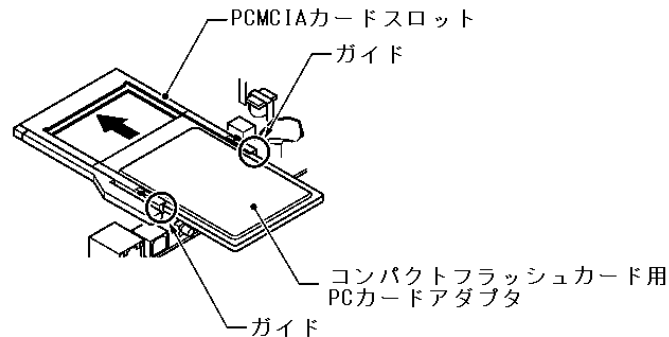
電池を取りはずす際は、必ず非金属製の棒で作業してください。金属製の棒（ドライバやシャープペンシルなど）で作業すると、電池がショートし、故障の原因となります。

以上で、メモリーバックアップ用電池の取りはずしは完了です。

PCMCIA カードスロットへのカードの挿入・取り出し

■PCMCIA カードスロットへのカードの挿入のしかた

- 1 PCMCIA カードスロット (CN11) のガイドに合わせて、コンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプターを挿入します。

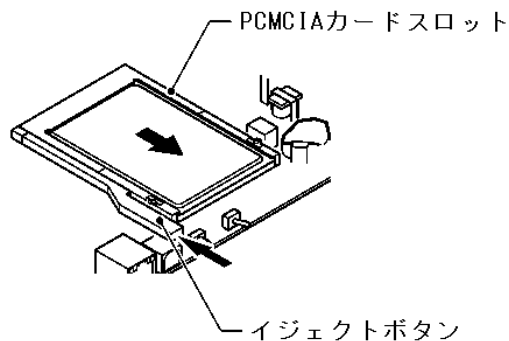


- 2 PCMCIA カードスロットのコネクタにしっかり差し込みます。

以上で、PCMCIA カードスロットへのカードの挿入は完了です。

■PCMCIA カードスロットからのカードの取り出しかた

- 1 PCMCIA カードスロット (CN11) のイジェクトボタンを押し込みます。



- 2 コンパクトフラッシュカード用 PC カードアダプターが、PCMCIA カードスロット (CN11) のコネクタからはずれるので、指ではさんで抜き出します。

以上で、PCMCIA カードスロットからのカードの取り出しは完了です。

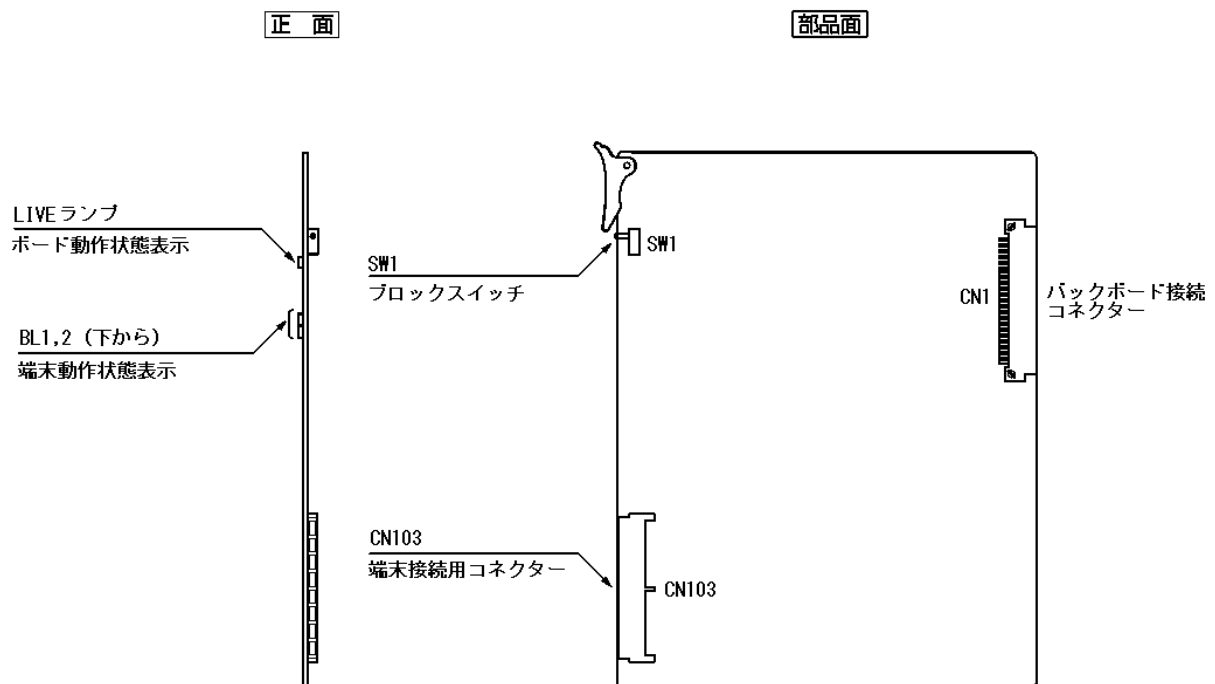
電話機接続ボード WD-MU22 の説明

ボード概要

■概要

- ・多機能電話機 WD-MT20、放送入出力ユニット WD-AF20 をシステムに接続するためのインターフェースボードです。
- ・収容できる端末数は8台です。

■外観図



スイッチ設定

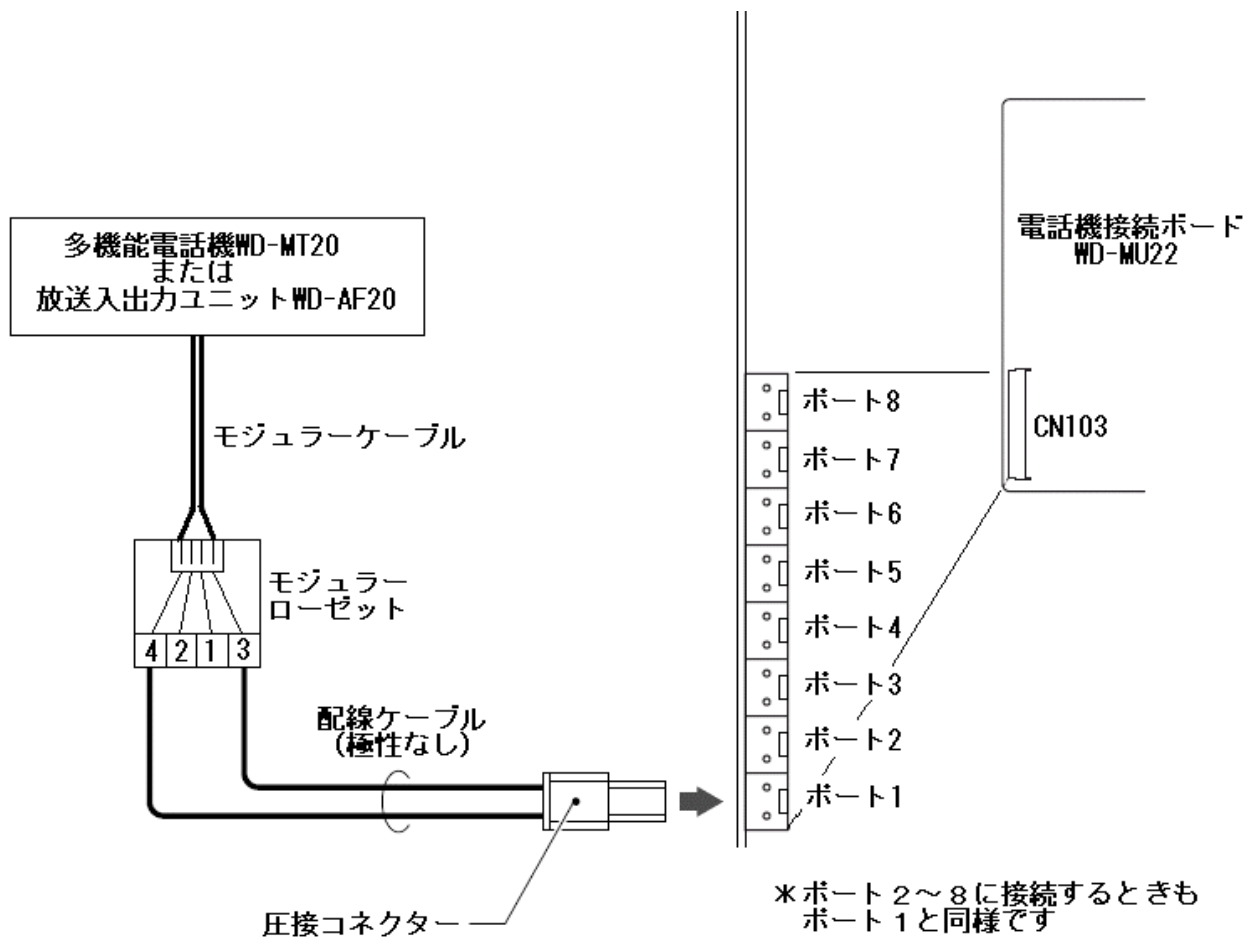
スイッチ名称	設定	内容
SW1 (ブロックスイッチ)	RUN (レディ)	通常運用時
	BLK (メークビジー)	ボード挿抜時

ランプ表示

ランプ名称	機能名	表示状態	表示内容
LIVE	ボード動作状態表示	緑点灯	初期化中、またはブロックスイッチを RUN 側にしたとき（抜き差し不可）
		緑点滅 （スローフラッシュ）	ユニットのセルフチェック時に初期化異常発生
		緑点滅	正常動作
		消灯	ダウンロード中、またはブロックスイッチを BLK 側にしたとき（抜き差し可）
BL1	CH1～4 端末動作 状態表示	赤点灯	端末通話中
BL2	CH5～8 端末動作 状態表示	赤点灯	端末通話中

端末の接続

下図のように接続します。



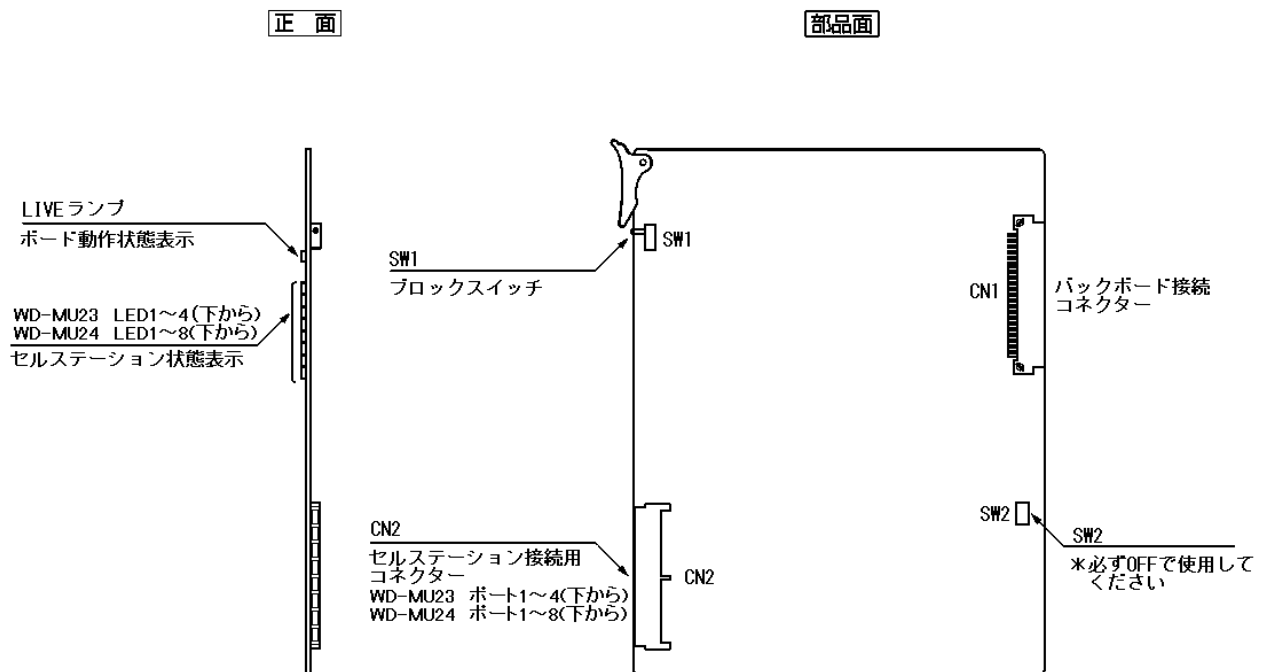
セルステーション接続ボード WD-MU23/MU24 の説明

ボード概要

■概要

- ・セルステーション WD-T150 をシステムに接続するためのインターフェースボードです。
- ・収容できるセルステーション(CS)数は、WD-MU23 が4台、WD-MU24 が8台です。

■外観図



スイッチ設定

スイッチ名称	設定	内容
SW1 (ブロックスイッチ)	RUN (レディ)	通常運用時
	BLK (メークビジー)	ボード挿抜時

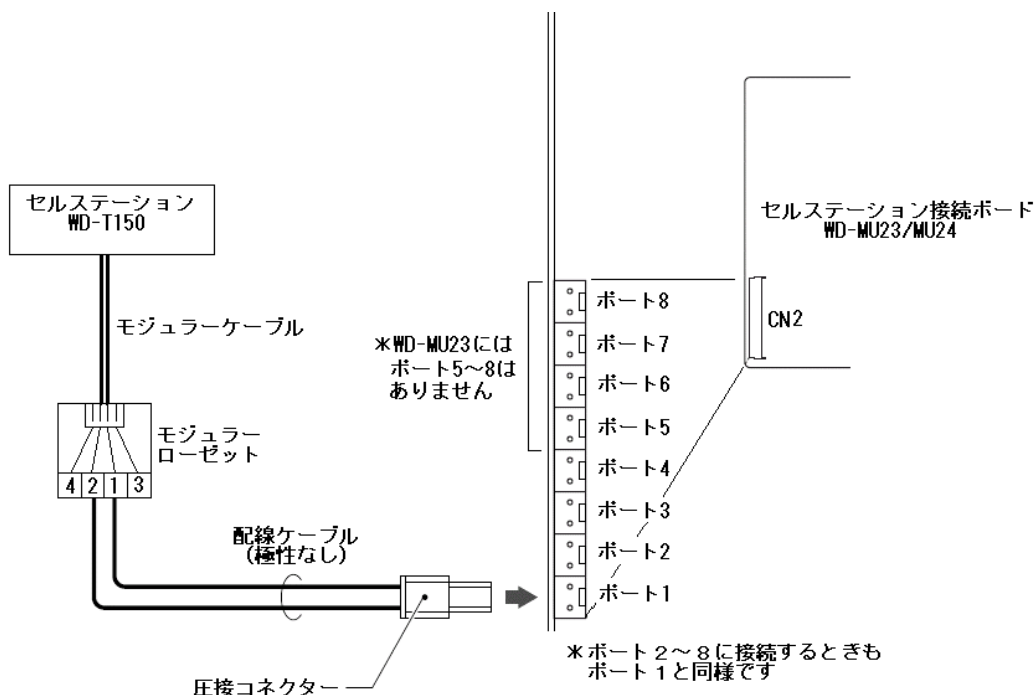
ランプ表示

ランプ名称	機能名	表示状態	表示内容
LIVE (LED9)	ボード動作状態表示	緑点灯	初期化中、またはブロックスイッチを RUN 側にしたとき（抜き差し不可）
		緑点滅 (100msON/OFF)	正常動作
		消灯	ダウンロード中、またはブロックスイッチを BLK 側にしたとき（抜き差し可）
LED1 LED2 LED3 LED4 LED5 * LED6 * LED7 * LED8 *	セルステーション 1～8 状態表示	赤点滅	セルステーション未接続
		消灯	セルステーション接続（子機未接続）
		赤点灯	セルステーション接続（子機通話中）

*LED5～LED8 は、WD-MU23 にはありません。

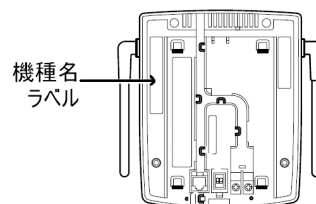
セルステーション WD-T150 の接続

下図のように接続します。下図は、ローゼットを使用する場合の例です。



●**注意**

セルステーション接続ボード WD-MU23/MU24 に接続できるセルステーションは、WD-T150 の(B)版です。(B)版ではない WD-T150 は接続できません。セルステーション本体の底面に貼ってある機種名ラベルで機種名をご確認のうえ、接続してください。



メモ

セルステーションを設置した場所をシステム設定データシートなどに記録しておく、メンテナンスの際に役に立ちます。

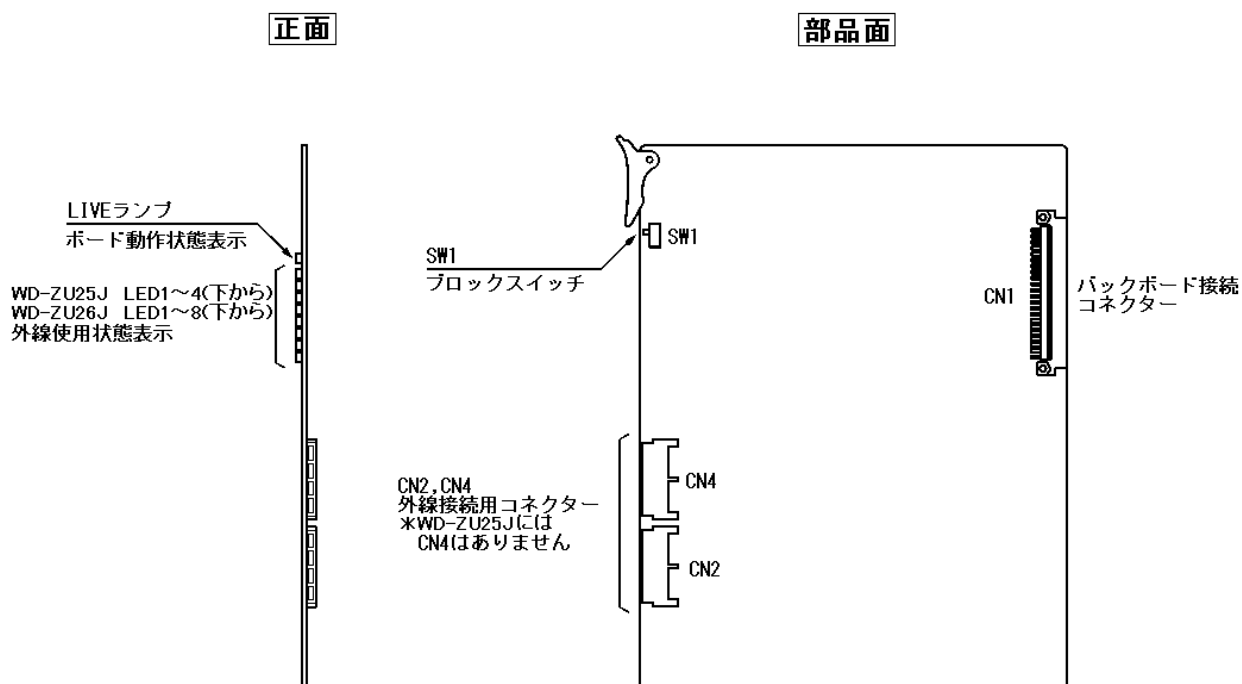
電話回線接続ボード WD-ZU25J/ZU26J の説明

ボード概要

■概要

- ・一般アナログ電話回線をシステムに接続するためのインタフェースボードです。（幹旋品）
- ・収容できる回線数は4回線です。

■外観図



スイッチ設定

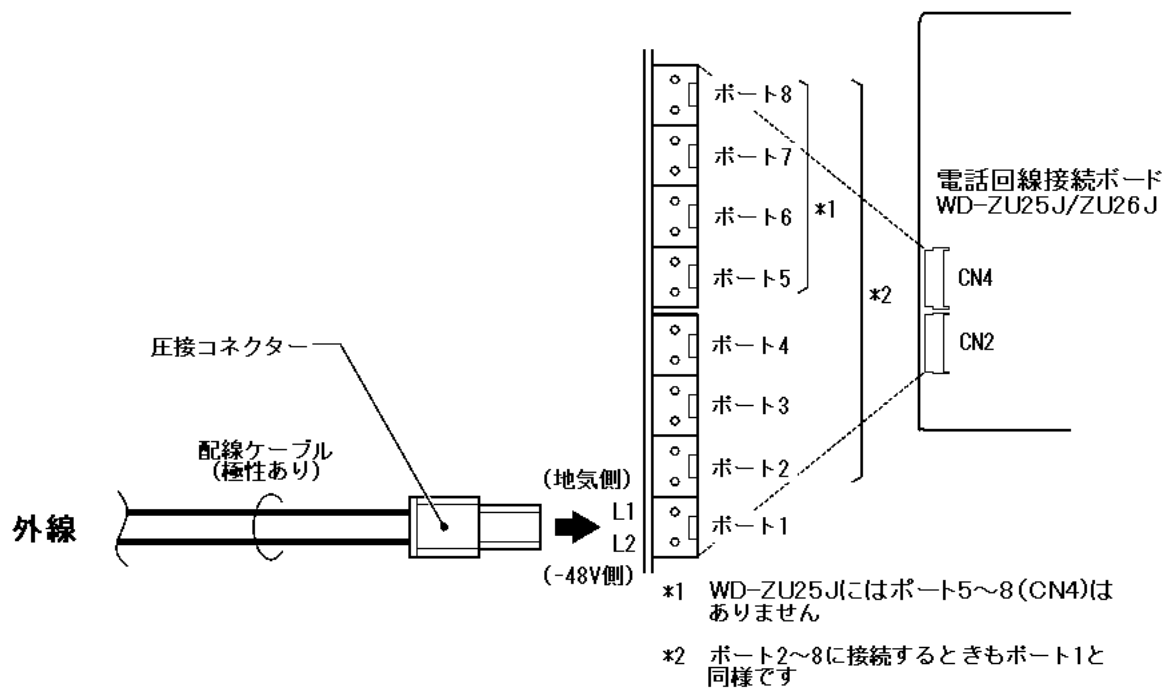
スイッチ名称	設定	内容
SW1 (ブロックスイッチ)	RUN (レディ)	通常運用時
	BLK (メークビジー)	ボード挿抜時

ランプ表示

ランプ名称	機能名	表示状態	表示内容
LIVE (LED9)	ボード動作状態表示	緑点灯	初期化中、またはブロックスイッチを RUN 側にしたとき（抜き差し不可）
		緑点滅 (スローフラッシュ)	ユニットのセルフチェック時に初期化異常発生
		緑点滅 (100msON/OFF)	正常動作
		消灯	ダウンロード中、またはブロックスイッチを BLK 側にしたとき（抜き差し可）
LED1	外線 1～4 使用状態表示	赤点灯	使用中
LED2		消灯	未使用
LED3			
LED4			

外線の接続

下図のように接続します。



■多機能電話機 WD-MT20 の説明

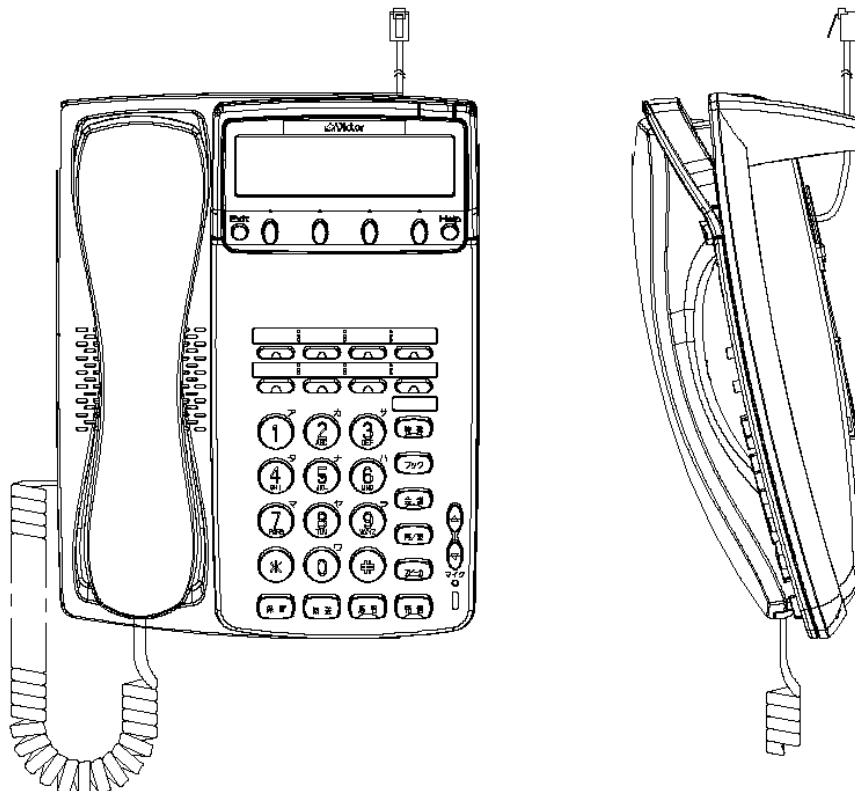
装置概要

■概要

- ・内線電話機、または、インカム端末として使用できる多機能電話機です（インカム端末として使用するためには、システムデータの設定が必要です）。
- ・8個のファンクションボタンを搭載しています。
- ・24文字×3行のLCDを搭載しています。
- ・受話器音量切り換えは13段階です。調整方法は、取扱説明書をご覧ください。
- ・スピーカー音量切り換えは14段階です。調整方法は、取扱説明書をご覧ください。
- ・着信音量切り換えは13段階です。調整方法は、取扱説明書をご覧ください。
- ・LCDのコントラスト（濃淡）調節は8段階です。調整方法は、取扱説明書をご覧ください。
- ・システムデータを設定、確認する装置としても使用できます。

■外観図

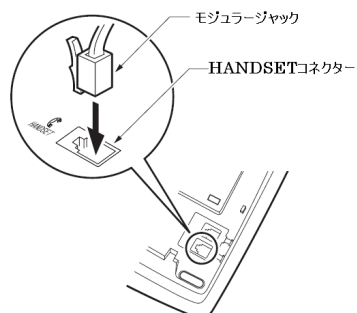
- ・ボタンのはたらき、ランプ表示などは、動作モードにより異なります。詳しくは、取扱説明書、および、設置説明書（データ設定説明書）をご覧ください。



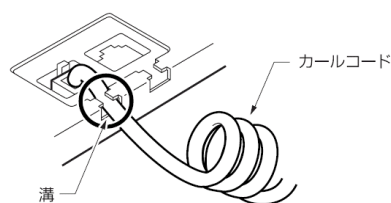
受話器の接続

工場出荷時は接続されています。はずれた場合は、次の手順で接続してください。

- 1 多機能電話機裏面の HANDSET コネクタに、受話器のカールコードのモジュージャックを“カチッ”と音がするまで差し込みます。



- 2 カールコードを溝にはめ込んで固定します。

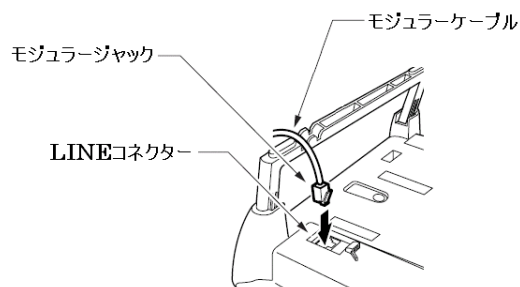


以上で、受話器の接続は完了です。

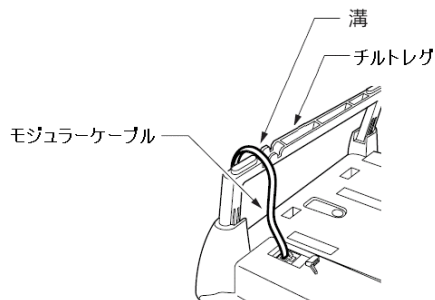
配線ケーブルの接続

工場出荷時は接続されています。はずれた場合は、次の手順で接続してください。

- 1 多機能電話機裏面の LINE コネクタに、添付のモジュラーケーブルのモジュージャックを“カチッ”と音がするまで差し込みます。



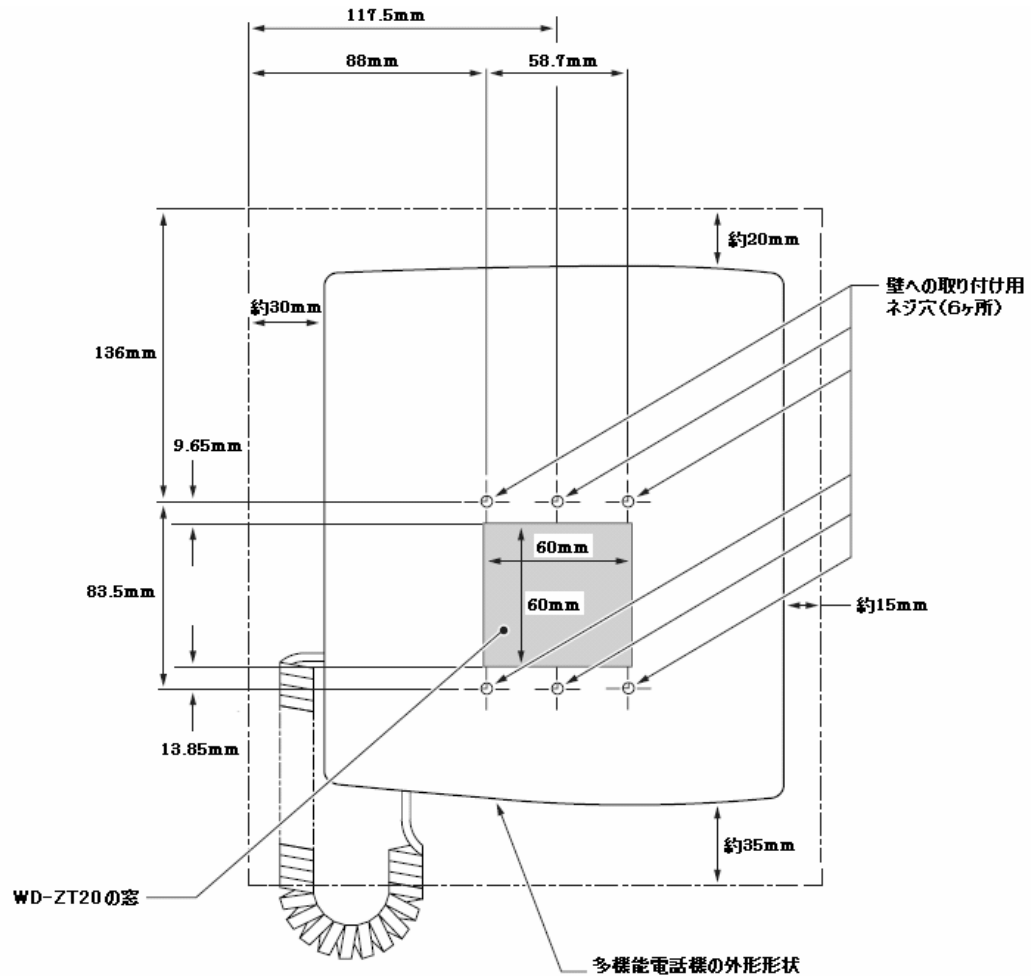
- 2 モジュラーケーブルをチルトレグの溝にはめ込んで固定します。



以上で、配線ケーブルの接続は完了です。

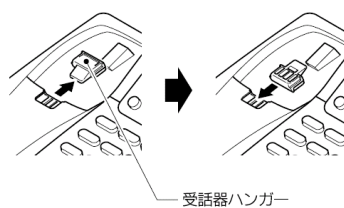
壁掛け設置

多機能電話機を壁掛け設置するには、壁掛用品 WD-ZT20（幹旋品）が必要です。
また、多機能電話機を取り付ける壁には、次のスペースが必要です。

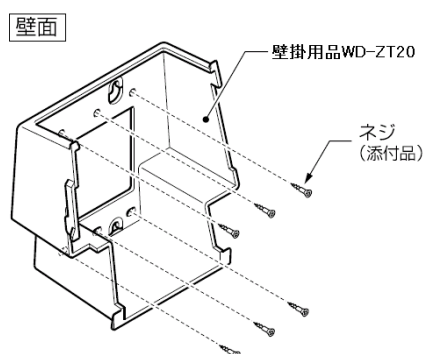


次の手順で設置します。

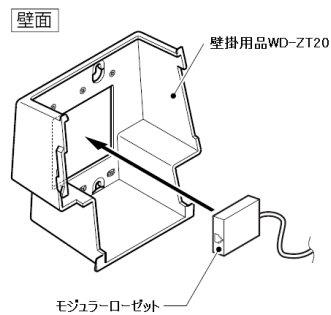
- 1 受話器ハンガーを抜き出し、向きを逆にして“カチッ”と音がするまで差し込みます。



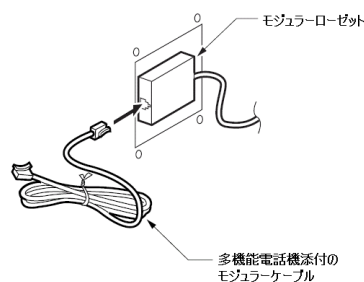
- 2 壁掛用品 WD-ZT20 を添付のネジ6本で壁に取り付けます。



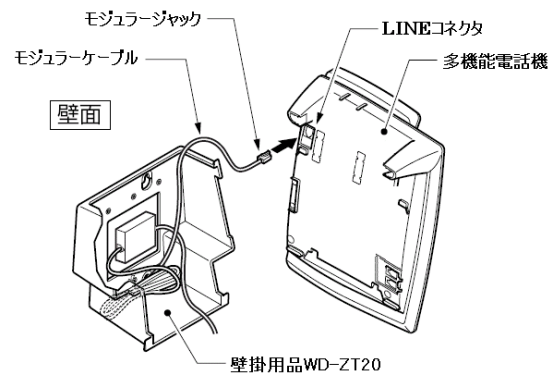
- 3** 壁掛用品 WD-ZT20 の窓から壁にモジュラーローゼットを取り付けます。
壁からモジュラーコネクターが直接出ている場合などのように、モジュラーローゼットを使わないときは、手順 **4** に進んでください。



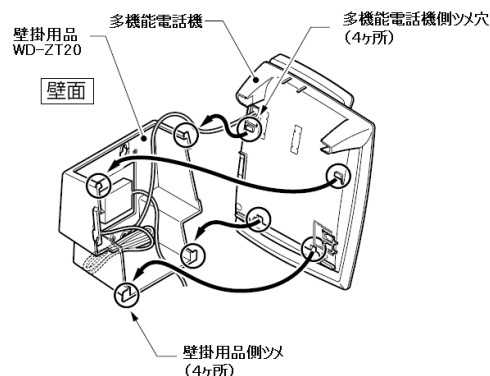
- 4** モジュラーローゼット（またはモジュラコネクター）に、多機能電話機付属のモジュラーケーブルのモジュラージャックを差し込みます。



- 5** モジュラーケーブルを壁掛用品 WD-ZT20 の下部に収納し、モジュラーケーブルのモジュラージャックを多機能電話機の LINE コネクターに“カチッ”と音がするまで差し込みます。



- 6** 多機能電話機のツメ穴4箇所を壁掛用品 WD-ZT20 のツメに引っ掛けます。あまったモジュラーケーブルは壁掛用品 WD-ZT20 の中に指で押し込んでください。



以上で、壁掛け設置は完了です。

■放送入出力ユニット WD-AF20 の説明

装置概要

■概要

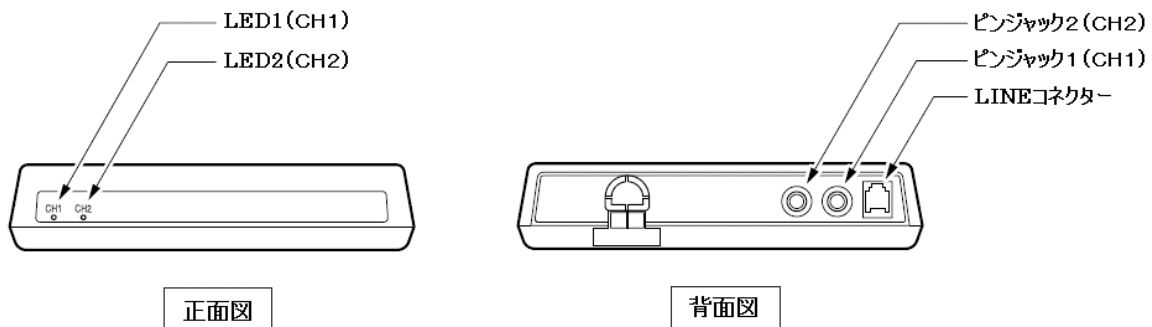
- ・ 外部から音声を入力してシステムに取り込んだり、システムから音声を外部に取り出したりするためのユニットです。
- ・ 動作モードには、次の2つがあります。動作モードの切り換えは、放送入出力ユニット内部のスイッチ設定で行います。
 - ①インカム通話グループ参加モード（工場出荷設定）
 - ②放送モード

上記の2つの動作モードとも、さらにシステムデータの設定が必要です。

動作モード	必要なシステムデータ設定項目
インカム通話グループ参加モード	放送入出力ユニットのインカム通話グループメンバー登録
放送モード	放送グループの設定

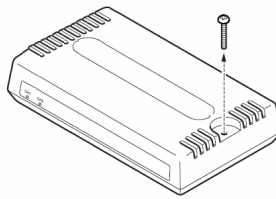
- ・ 音声入出力のインターフェースは2chあり、上記の2つの動作モードを個別に設定できます。

■外観図



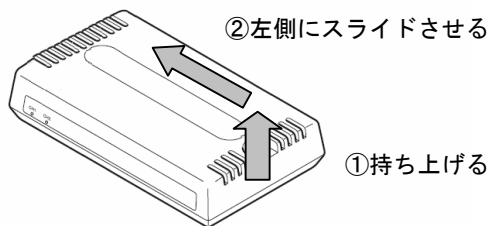
スイッチ設定

- 1 放送入出力ユニットの上カバーのネジをはずします。

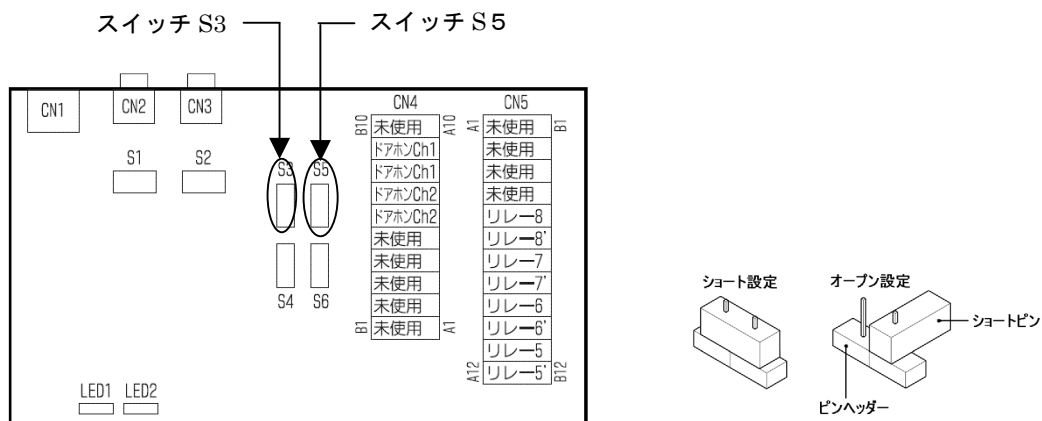


上カバーのネジ穴側を少し持ち上げ、左側にスライドさせて、上カバーをはずします。

2



- 3 内部の「スイッチ S 3」と「スイッチ S 5」を設定したい動作モードに合わせて、ショートまたはオープンに設定します。それ以外のスイッチ変更やコネクター接続は、行なわないでください。



- ・ショート設定時は、確実にショートピンを下まで押し込んでください。
- ・オープン設定時は、上図のようにショートピンをピンヘッダーに対して L 字に実装しておいてください。

●CH1 側の動作モード設定

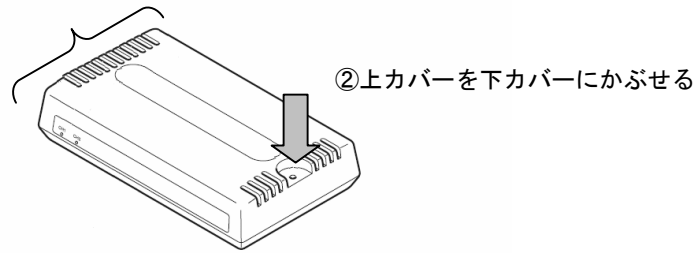
スイッチ S 3	動作モード	備考
ショート	インカム通話グループ参加モード	工場出荷設定
オープン	放送モード	

●CH2 側の動作モード設定

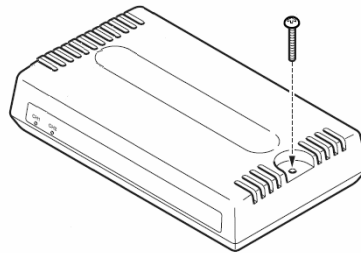
スイッチ S 5	動作モード	備考
ショート	インカム通話グループ参加モード	工場出荷設定
オープン	放送モード	

4 上カバー左側のツメを下カバーのツメ穴にしっかり入れて、上カバーを下カバーにかぶせます。

①上カバーのツメを下カバーのツメ穴にしっかり入れる



5 上カバーをネジで取り付けます。



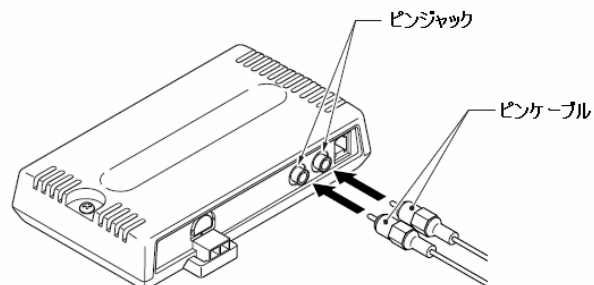
以上で、スイッチ設定は完了です。

ランプ表示

ランプ名称	表示内容	備考
LED1	CH1 使用中に緑点灯	●放送モードの場合は、放送中のみ緑点灯になります。 ●スイッチ設定とシステムデータの設定が不一致の場合は、緑点滅になります。
LED2	CH2 使用中に緑点灯	

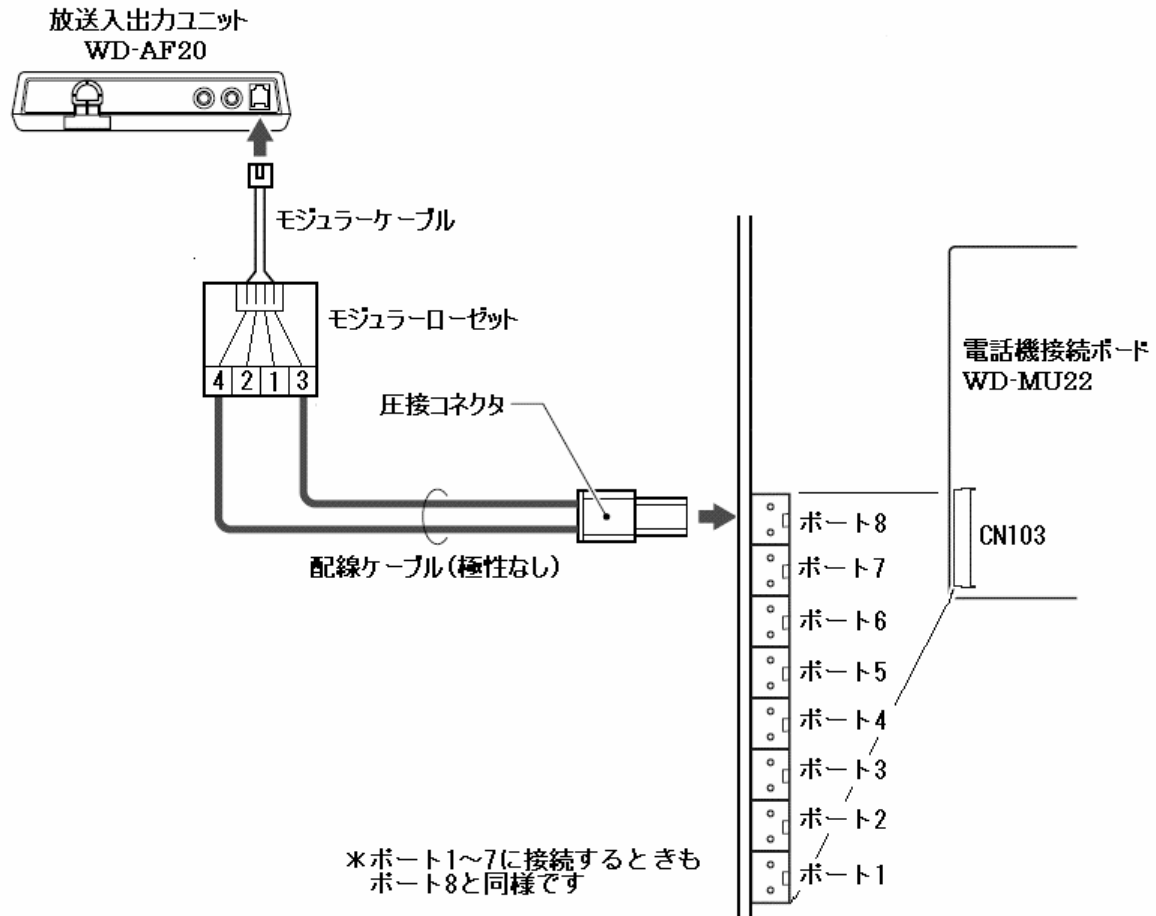
外部機器の接続

放送入出力ユニット背面のピンジャック 1 または 2 と外部機器をピンケーブルで接続します。



配線ケーブルの接続

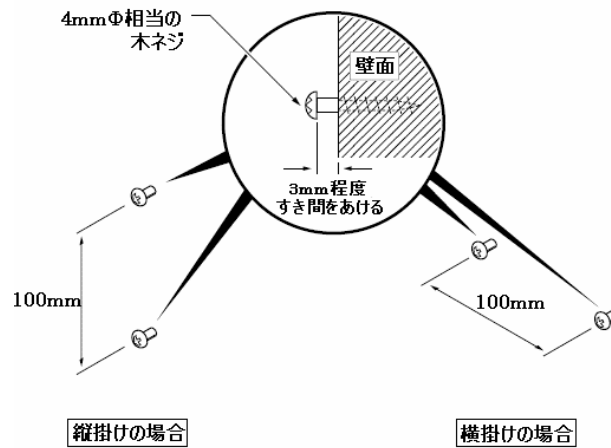
下図のように接続します。



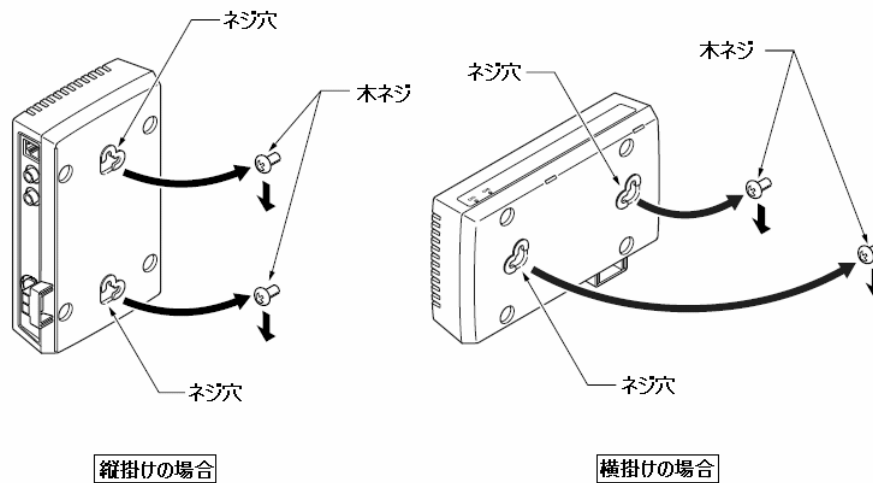
内線ポート番号 1 または 2 に設定されている電話機接続ボード WD-MU22 のポートには接続できません。内線ポート番号については、設置説明書（データ設定説明書）をご覧ください。

壁掛け設置

- 1 木ネジ(φ4mm) (工事手配品) などを、図の寸法に従って壁に取り付けます。
このとき、木ネジなどは、壁から 3mm 程度すき間を開けておいてください。



- 2 放送入出力ユニット WD-AF20 底面のネジ穴を、取り付けたネジに引っ掛けて下方方向に引きます。



以上で、壁掛け設置は完了です。

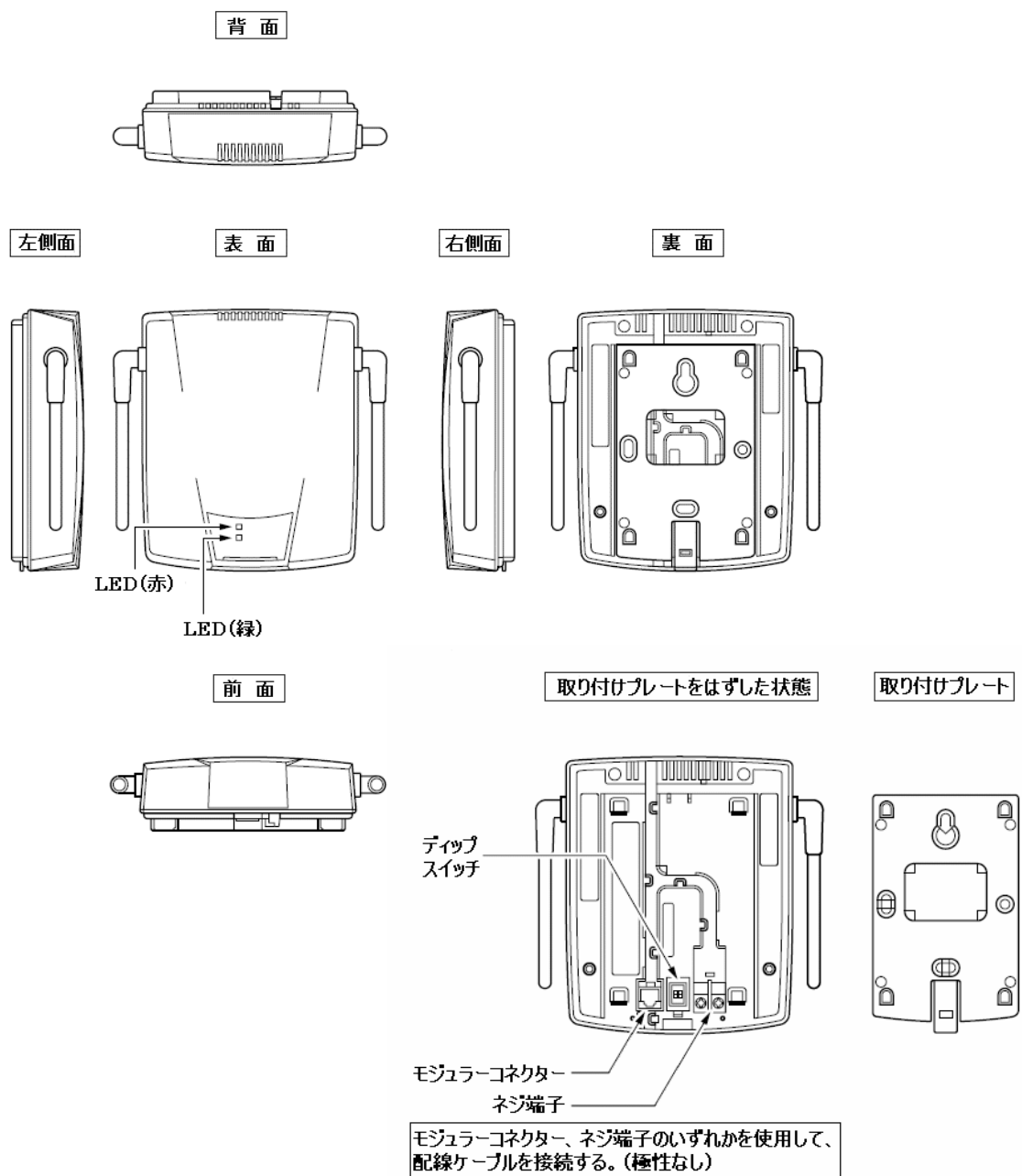
セルステーション WD-T150 の説明

装置概要

■概要

- ・ポータブルトランシーバー（WD-TR100 および WD-TR200）と無線で通信を行い、ポータブルトランシーバーをシステムに接続させるための装置です。
- ・ポータブルトランシーバーとは、1.9GHz 帯のデジタル無線で通信を行います。
- ・1 台のセルステーションで 3 台のポータブルトランシーバーを接続することができます。

■外観図



スイッチ設定

システムに接続するセルステーションの中で1台のみをマスターセルステーションに設定してください。



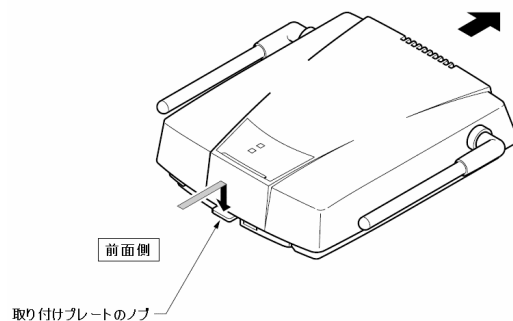
子機登録を行なうセルステーションは、マスターセルステーションになります。したがって、マスターセルステーションは、多機能電話機 WD-MT20 を設置する場所に近いところ（たとえば同じ部屋のなかなど）に設置してください。



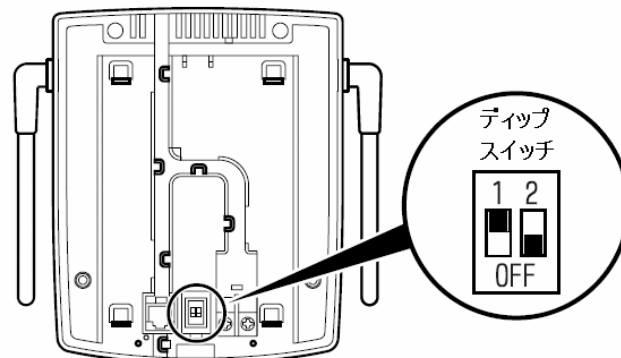
複数台のマスターセルステーションをシステムに接続すると、正常に動作しません。
また、システムにマスターセルステーションが接続されていないと、正常に動作しません。

次の手順でマスターセルステーションの設定をします。

- 1 セルステーションから取り付けプレートを取りはずします。取り付けプレートのノブを押さえながら、セルステーションをスライドさせるとはずれます。



- 2 セルステーションの裏面のディップスイッチのフサギ板を、先の細い棒（ペンなど）で引っ掛けて取りはずします。
- 3 ディップスイッチの SW1 を ON 側にします。SW2 は OFF 側にあることを確認してください。



- 4 ディップスイッチにフサギ板を取り付けます。
- 5 取り付けプレートを取りはずす手順と逆の手順で、セルステーションに取り付けプレートを取り付けてください。

以上で、マスターセルステーションの設定は完了です。

ランプ表示

(1) 動作中、子機登録中

状態			LED（赤）	LED（緑）		備考
				詳細表示する	詳細表示しない	
通常動作中	アイドル	マスター	点灯	点灯		発着呼まちの状態
		スレーブ	消灯			
	1CH 使用時	マスター	点灯	点滅 (1 秒周期)	点灯	
		スレーブ	消灯			
	2CH 使用時	マスター	点灯	点滅 (0.5 秒周期)	点灯	
		スレーブ	消灯			
	3CH 使用時	マスター	点灯	点滅 (0.1 秒周期)	点灯	
		スレーブ	消灯			
子機登録中		マスター	点灯	0.1 秒消灯→0.1 秒点灯→0.1 秒消灯→1.7 秒点灯の周期で点滅		
		スレーブ	消灯			

* マスター：マスターセルステーション

スレーブ：マスターセルステーション以外のセルステーション

* LED (緑) の工場出荷時は「詳細表示しない」設定です。「詳細表示する」には、システムデータの設定（プログラム番号【10-10-02】）が必要です。

(2) 活性化中

状態			LED (赤)	LED (緑)		備考
				詳細表示する	詳細表示しない	
①	リセット		点灯	点灯		電源投後、約 5 秒間継続
②	ブート		点滅 (1 秒周期)	点灯または消灯 (ロードエリア識別表示)		プログラムロード中
③	データ伝送周期引き込み		点滅 (1 秒周期)	点滅 (1 秒周期)		通常、瞬時で完了 ・ 正常時：④へ ・ 異常時：⑤へ
④	初期化およびエリア周期引き込み	マスター	点灯	点滅 (1 秒周期)		・ 正常時：動作中へ移行 ・ 異常時：⑤へ
		スレーブ	消灯			
⑤	リスタート		点滅 (0.1 秒周期)	点滅 (0.1 秒周期)		約 5 秒継続後、②に戻る

* マスター：マスターセルステーション

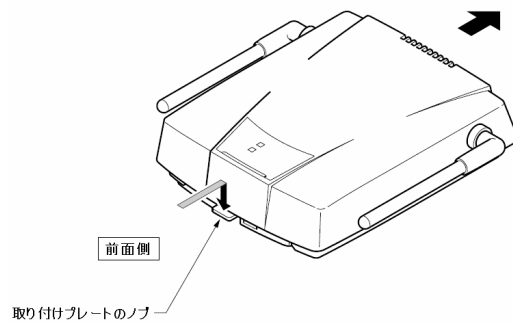
スレーブ：マスターセルステーション以外のセルステーション

* LED (緑) の工場出荷時は「詳細表示しない」設定です。「詳細表示する」には、システムデータの設定（プログラム番号【10-10-02】）が必要です。

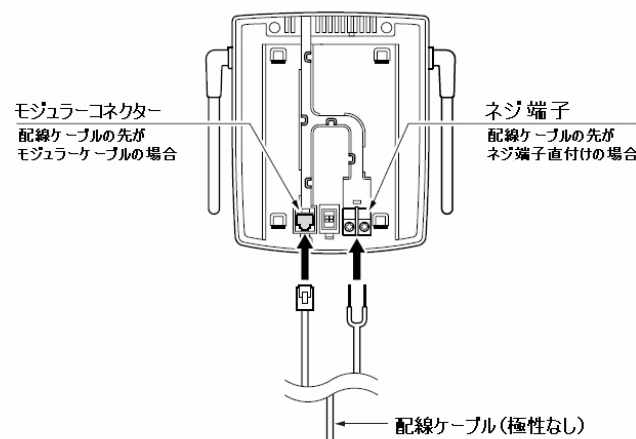
* 正常活性時は、①→②→③→④→動作中、の順番で進みます。

配線ケーブルの接続

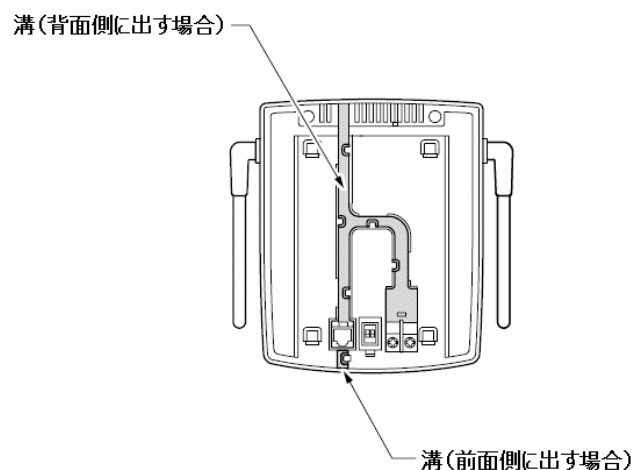
- 1 セルステーションから取り付けプレートを取りはずします。取り付けプレートのノブを押さえながら、セルステーションをスライドさせるとはずれます。



- 2 セルステーションの裏面のモジュラーコネクタまたはネジ端子のいずれかを使用して配線ケーブルを接続します。
(極性なし)



- 3 溝に配線ケーブルをはめ込みます。



- 4 取り付けプレートを取りはずす手順と逆の手順で、セルステーションに取り付けプレートを取り付けてください。

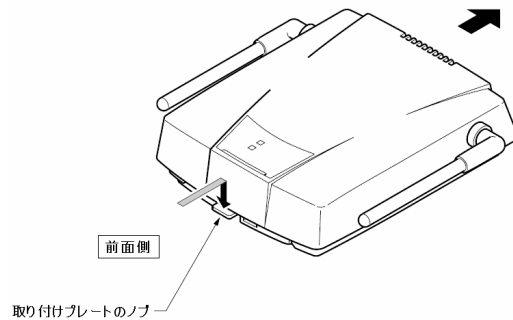
以上で、マスターセルステーションの設定は完了です。

壁、天井への取り付け

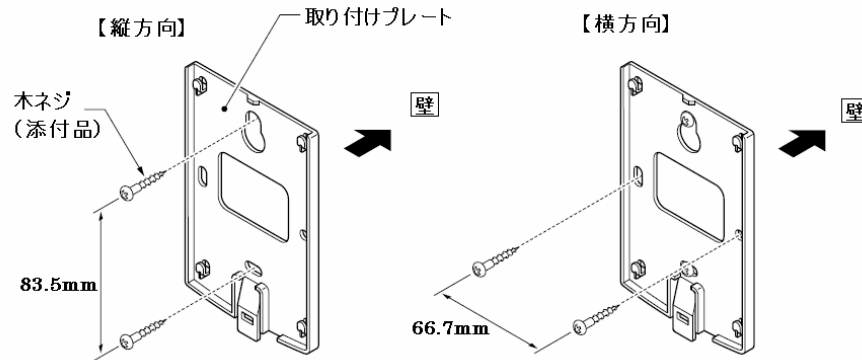


セルステーションを設置した場所をシステム設定データシートなどに記録しておく、メンテナンスの際に役に立ちます。

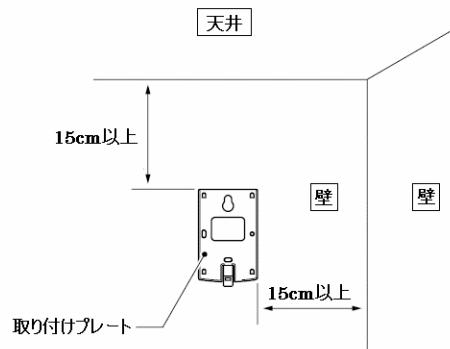
- 1 セルステーションから取り付けプレートを取りはずします。取り付けプレートのノブを押さえながら、セルステーションをスライドさせるとはずれます。



- 2 取り付けプレートを添付のネジで、壁に取り付けます。ネジは、木ネジ2本とネジが添付されています。

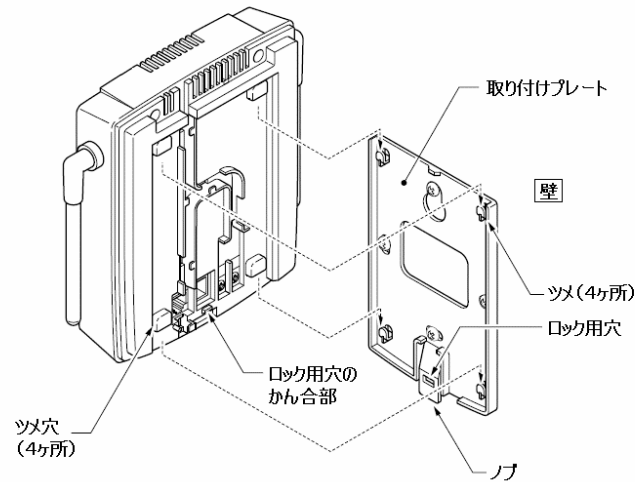


取り付けプレートは、図のように天井および壁から 15cm 以上の間隔をあけて取り付けてください。天井および壁からの間隔が近すぎると、セルステーションを取り付けプレートに取り付けられなくなります。



3 セルステーションに配線ケーブルを接続して、取り付けプレートに取り付けます。

58 ページ

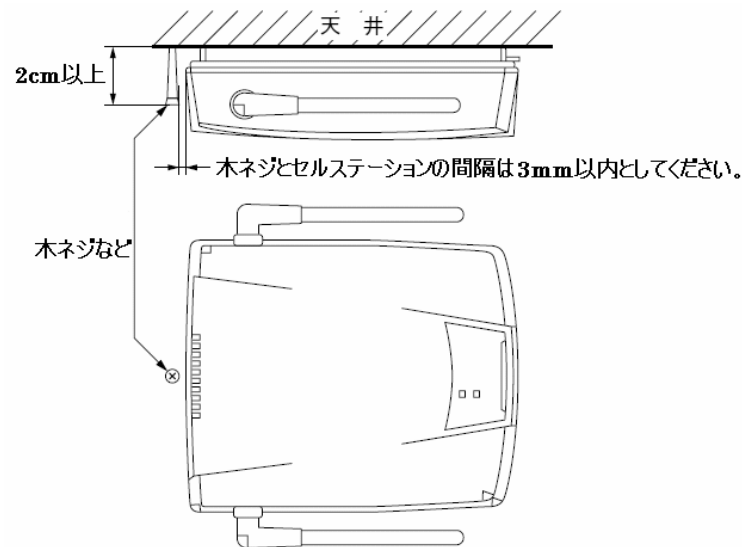


ご注意

セルステーションを取り付けプレートに取り付けるときに、ツメとツメ穴、ロック用穴とロック用穴のかん合部が確実にかん合していることを確認してください。取り付けが不十分な場合、落下の原因となります。

ご注意

天井への設置の場合は、取り付けプレートに取り付け後、下図のように木ネジ（工事手配品）などを使用してセルステーションと取り付けプレートがスライドしないように、落下防止を行なってください。

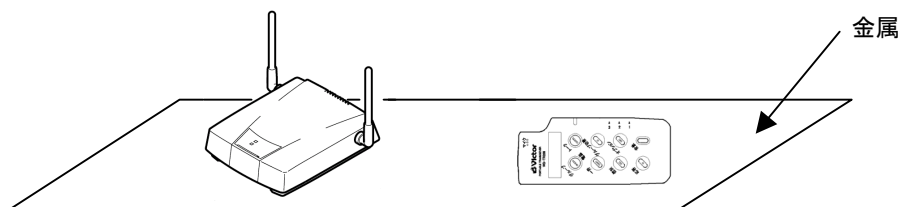


以上で、壁、天井への取り付けは完了です。

設置上の注意事項

■セルステーションおよびポータブルトランシーバーの設置場所

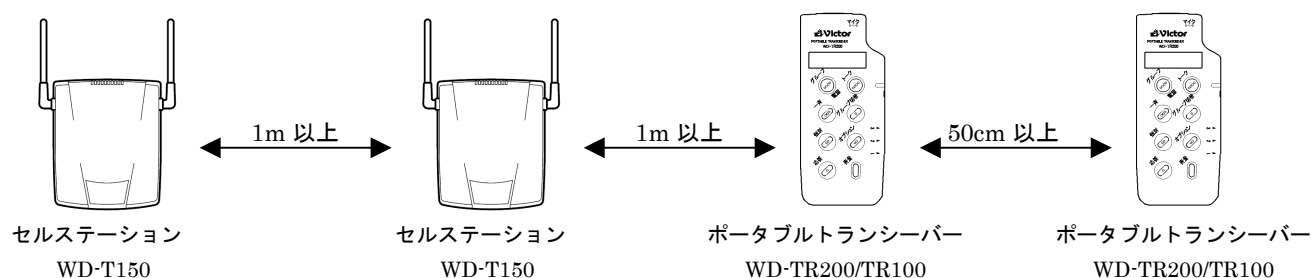
金属板の上および下への設置は、避けてください。通話にノイズが入ったり、誤動作の原因となることがあります。



■セルステーションおよびポータブルトランシーバーの設置距離

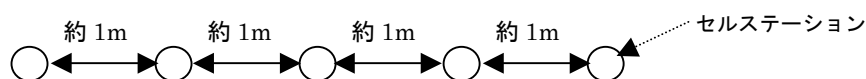
次に示す設置距離をできるだけ確保してください。近づけて設置すると、通話にノイズが入ったり、誤動作の原因となることがあります。

(1) セルステーション、ポータブルトランシーバー間の距離

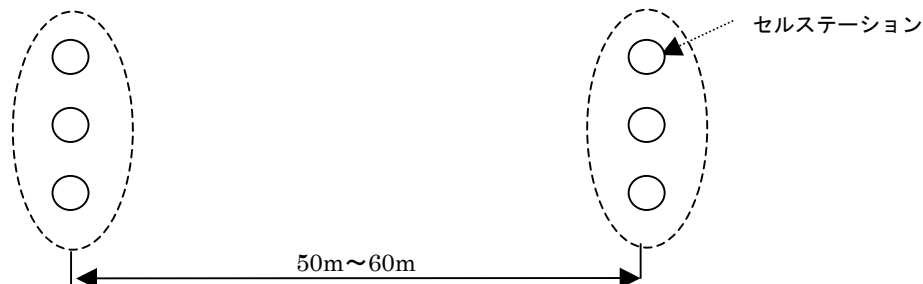


(2) セルステーションの配置

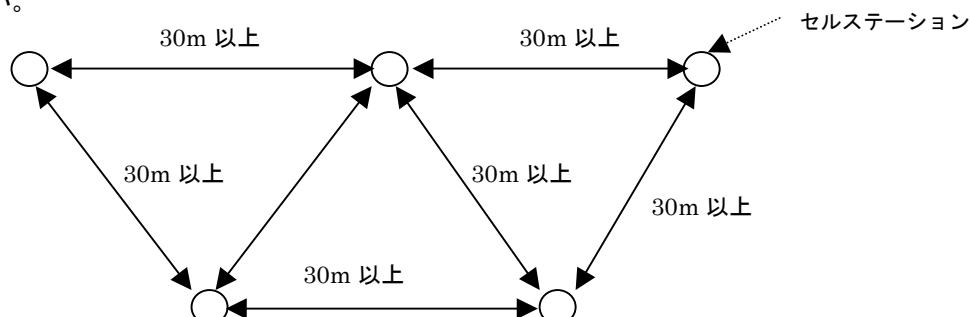
- ① 1つのエリア内にすべてのセルステーションを配置する場合は、セルステーションを近づけ（約1m）、すべてのセルステーションが1つのかたまりとなるようにしてください。



- ② 隣接するセルステーションのかたまりどうしは、50m～60m 離してください。



- ③ 複数エリアで1エリアに1台のセルステーションを設置する場合は、それぞれのセルステーションは30m以上離してください。



メモ（ご自由にお使いください）

メモ（ご自由にお使いください）

お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 **(045)450-8950** [代表]

FAX **(045)450-2275**

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

日本ビクター株式会社 プロシステムカンパニー

〒192-8620 東京都八王子市石川町 2969-2 電話 (0426) 60-7203